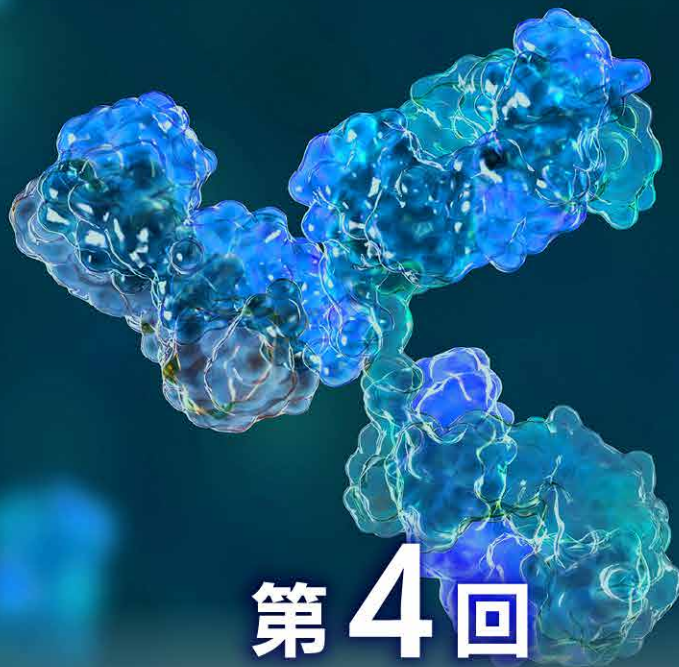




第4回

# 日本抗体学会学術大会

The antibody society of Japan

プログラム・抄録集

会 期

2025年12月1日(月)～3日(水)

会 場

大宮ソニックシティ

〒330-8669

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

大会実行  
委員長

根本 直人 (埼玉大学 大学院理工学研究科 特任教授)



## 目次

---

|                        |     |
|------------------------|-----|
| ご挨拶 .....              | 1   |
| 役員一覧 / 歴代世話人と開催地 ..... | 2   |
| 会場へのアクセス .....         | 3   |
| 会場のご案内 .....           | 6   |
| 参加者へのご案内 .....         | 8   |
| 口頭発表座長・演者へのご案内 .....   | 11  |
| ポスター発表者へのご案内 .....     | 13  |
| 日程表 .....              | 14  |
| プログラム                  |     |
| 1日目 12月1日(金) .....     | 17  |
| 2日目 12月2日(日) .....     | 18  |
| 3日目 12月3日(日) .....     | 21  |
| ポスター発表 .....           | 24  |
| 抄 録                    |     |
| 招待講演 .....             | 46  |
| ランチョンセミナー .....        | 79  |
| ティータイムセミナー .....       | 89  |
| ポスター発表                 |     |
| [A] .....              | 102 |
| [B] .....              | 205 |
| バナー広告一覧 .....          | 307 |
| 賛助会員一覧 .....           | 308 |
| 広告協賛企業一覧 .....         | 309 |
| 広 告 .....              | 311 |

## ご挨拶



第4回日本抗体学会学術大会 実行委員長

日本抗体学会副会長 **根本 直人**

埼玉大学理工研究科 特任教授

第4回抗体学会学術大会の実行委員長を務めさせて頂いている埼玉大学の根本直人です。2025年12月1-3日に、第4回学術大会を大宮にて開催できますこと、大変嬉しく思っております。

2022年4月の設立から4年目を迎えておりますが、会員数も着実に増加しており現在2,000名を超えております。本学術大会はこれまで鹿児島で2回開催し、第3回は仙台、そして第4回は大宮で開催されることになりました。参加登録者は11月10日の段階で700名を超え（第1回470名、第2回629名、第3回903名）、企業展示数も昨年を上回る71社から出展があり、今回も大変盛況で活発な学術大会になると期待しております。

第4回学術大会では、第3回と同様に依頼講演（31演題）に加えて、ポスター発表から11演題を一般講演として選抜し、口頭発表を行っていただくと共に、韓国抗体学会からご活躍の2名の先生方にもご発表いただきます。加えて、今回はじめての試みとして主に米国でご活躍されている小出昌平博士にもご講演していただくことになりました。また、「抗体と糖鎖」をテーマにセッションを企画し、本大会の特色としました。ポスター発表への申し込みは、第1回88演題、第2回130演題、第3回169演題と着実に増えて参りましたが、今回は205演題と初めて200の大台にも乗り、昨年に続き研究者の皆様の本会への熱い期待を感じている次第です。

このような状況の中で開催される第4回学術大会は、これまでと同じく日本国内では唯一の抗体研究を中心とした発表・討論ができる学会として、しっかりとその役割を果たしていくと共に、国際展開も着実に進めていければと考えております。まずは、第4回学術大会にて快く依頼講演をお引き受けいただきました先生方に心より感謝申し上げます。

ご参加の皆様には、是非活発な議論と交流を通して有意義な時間を過ごしていただくことを祈念しております。

最後になりましたが、本学会の運営におきましては、バナー広告、賛助会員へのご賛同、また第4回の学術大会の開催に向けては、展示・広告等のご協力をいただきましたこと、企業の皆様に、厚く感謝の意を表します。要旨集の末尾で恐縮ですが、ご賛同、ご協力いただきました企業の皆様のリストを掲載させていただきましたのでご覧ください。

それでは、大宮での第4回学術大会にて、お会いできることを楽しみにしております。引き続き本会へのご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 役員一覧

|        |       |                 |
|--------|-------|-----------------|
| 会 長    | 伊東 祐二 | 鹿児島大学・教授        |
| 副 会 長  | 根本 直人 | 埼玉大学・特任教授       |
| 幹事（総務） | 梅津 光央 | 東北大学・教授         |
| 幹事（会計） | 村上 明一 | 徳島大学・准教授        |
| 運営委員   | 石井 明子 | 国立医薬品食品衛生研究所・部長 |
|        | 内山 進  | 大阪大学・教授         |
|        | 津本 浩平 | 東京大学・教授         |
|        | 萩原 義久 | 産業総合技術研究所・研究部門長 |
| 監 査    | 白井 宏樹 | 理化学研究所・コーディネーター |

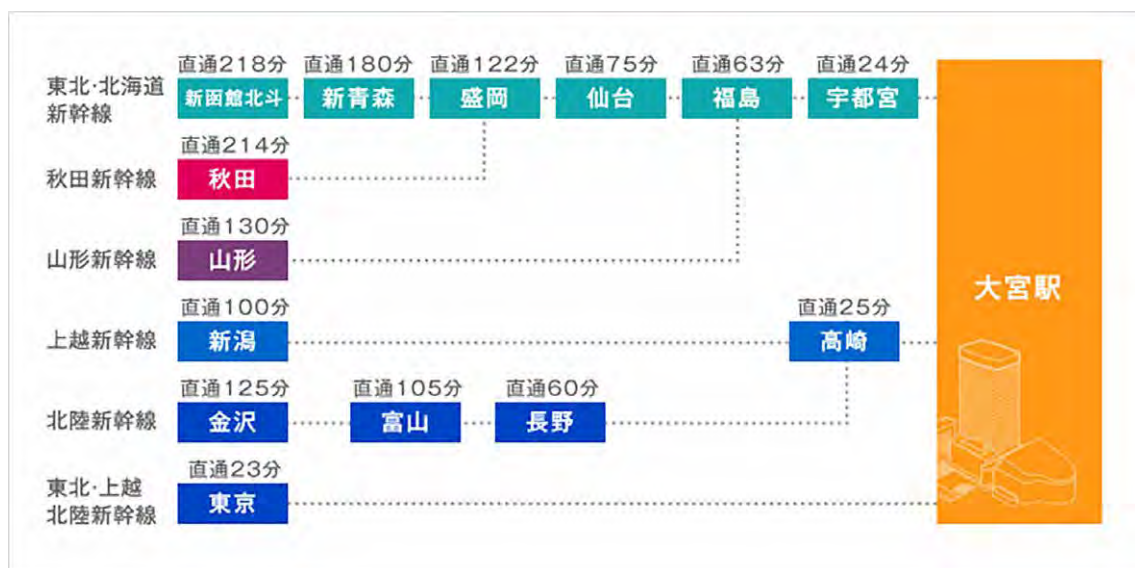
（50 音順）

## 歴代世話人と開催地

|           | 開催年月日                 | 開催地 | 世話人            |
|-----------|-----------------------|-----|----------------|
| 第 1 回     | 2022 年 11 月 26 日・27 日 | 鹿児島 | 伊東 祐二（鹿児島大学）   |
| 第 2 回     | 2023 年 12 月 1 日～ 3 日  | 鹿児島 | 伊東 祐二（鹿児島大学）   |
| 第 3 回     | 2024 年 12 月 9 日～ 11 日 | 仙 台 | 梅津 光央（東 北 大 学） |
| 第 4 回     | 2025 年 12 月 1 日～ 3 日  | 大 宮 | 根本 直人（埼 玉 大 学） |
| 第 5 回（予定） | 2026 年 12 月 9 日～ 11 日 | 福 岡 | 伊東 祐二（鹿児島大学）   |



### ●新幹線でお越しの方



### ●在来線でお越しの方



### ●飛行機でお越しの方



## ●お車でお越しの方

首都高速道路埼玉大宮線[ 新都心西 IC ]より1km  
駐車場もご利用いただけます。(有料)



●利用料金：20分／200円（最大料金2,000円※24時間）

●高さ：2.3m ●利用時間：7:00～23:00 ●収容台数：140台

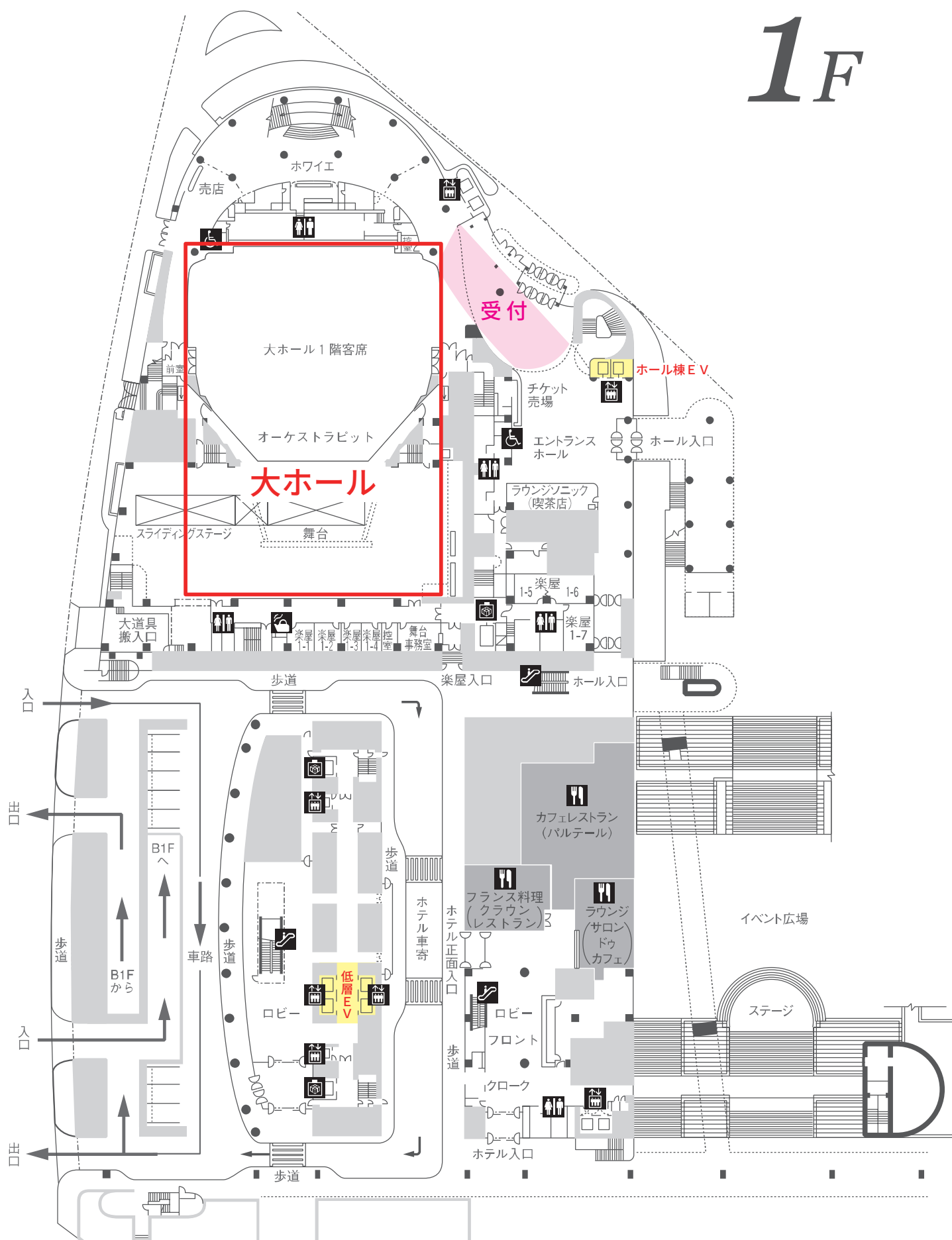
\*1 原付・自動二輪の駐車場はございません。

\*2 障害者手帳をお持ちの方は、3時間まで無料となります。

ビル2F 総合案内等で、手帳を提示の上、事前に3時間無料券をお受け取りください。

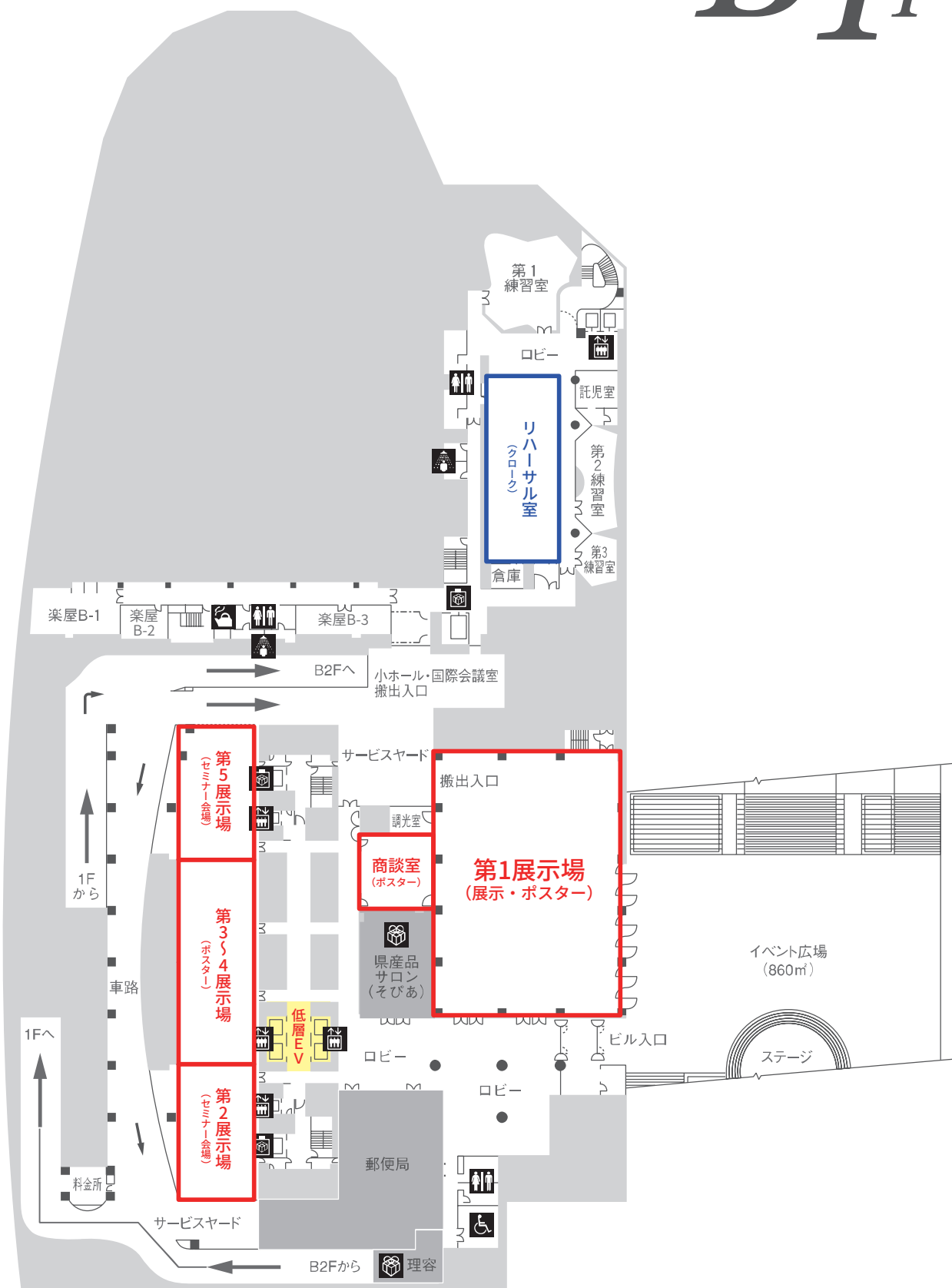
# 会場のご案内

# 1F



# 会場のご案内

# *B<sub>1</sub>F*



# 参加者へのご案内

## ◆会期

2025 年 12 月 1 日(月)～3 日(水)

## ◆講演会場

以下の3つの会場をオンラインでつなぎ、開催します。質疑応答は、メイン会場でのマイクを通して、あるいは ZoomWebinar の Q&A による書き込みで行われます(チャット機能は使用しません)。サテライト会場は視聴のみです。

メ イ ン 会 場：大ホール 1F (1,687 席)

サテライト会場 1：第 2 展示場 (80 席)

サテライト会場 2：第 5 展示場 (80 席)

## ◆ポスター会場

第 1 展示場

第 3 展示場

第 4 展示場

オンラインによる閲覧(大会開始日に閲覧サイトを公開：閲覧のみ。質疑応答なし)

## ◆ランチョンセミナー会場

メ イ ン 会 場：大ホール 1F

サテライト会場 1：第 2 展示場

サテライト会場 2：第 5 展示場

## ◆ティータイムセミナー会場

サテライト会場 1：第 2 展示場

サテライト会場 2：第 5 展示場

## ◆開催形式

口 頭 発 表：実地開催(対面)および Zoom Webinar によるライブ配信

ポスター発表：実地開催(対面)および オンラインによる閲覧

## ◆プログラム・抄録集

賛助会員、事前参加登録された一般、学生会員の方には、事前に PDF ファイルとして配布いたします(印刷物はありません)。

事前に配布される、ユーザー名とパスワードにより、当会ホームページから、プログラム・抄録集の PDF ファイルをダウンロードください。

## ご来場の方へ

### ◆事前登録者受付

受付時間：12月1日(月) 11:30～17:00

12月2日(火) 8:30～17:00

12月3日(水) 8:30～16:00

場 所：大宮ソニックシティ 大ホール ホワイエ（総合受付）

参 加 証：大会参加には、参加証（ネームカード）の提示が必要です。

参加証は各自で事前に学会 HP のマイページから A4 版用紙に印刷していただきます。

総合受付ではネームホルダーを用意しておりますので、印刷した参加証をネームホルダーに入れてから会場にお進みください。

### ◆参加費

事前登録 2025 年 7 月 10 日(火)～11 月 28 日(金)

|      |            |
|------|------------|
| 賛助会員 | お申込み口数まで無料 |
| 一般会員 | 10,000 円   |
| 学生会員 | 2,000 円    |

※学会参加者はランチョンセミナーを含むすべての学会セッションならびに展示会場への入場可。

また、展示ブースでの営業の方などにも、学会参加者として、会員登録、並びに参加登録・参加費支払いをお願いしております。

### ◆当日登録受付

当日の参加登録は原則行いませんので、必ず事前に参加登録、参加費支払いをお済ませください。当日に参加を申し込まれても、参加をお断りするか、オンライン参加に限定させていただくことになりますので、何卒ご了解ください。

### ◆発表内容の写真撮影、録音・録画について

各会場内ならびにライブ配信での撮影（写真・映像）、ならびに録音を固くお断りいたします。

### ◆ランチョンセミナー

12月2日(火)、12月3日(水)にランチョンセミナーを行います。

当日の朝（2日：8:30、3日：8:30）からランチョンセミナーチケットを先着順に、総合受付（ホワイエ）にて配布いたします。数に限りがありますこと予めご了承ください。

（メイン会場：200 個、サテライト会場：80 個×2=160 個）

### ◆ティータイムセミナー

12月1日(月)、12月2日(火)のポスター発表の時間に行います。

1日(月)は当日のお昼（12:00～）から総合受付（ホワイエ）にて配布いたします。

2日(火)は当日の朝、ランチョンセミナーと同じ時間（8:30～）に配布いたします。

ティータイムセミナーは時間枠が30分でポスター発表の時間に同じ会場で前半、後半の2回開催されます。

（第2展示場：80×2=160 個、第5展示場：80×2=160 個）

#### ◆ドリンクコーナー

ポスター発表の時間帯に第1展示場に設けております。  
(各1人当たり1本のペットボトルを配布予定)

#### ◆クローク (B1F リハーサル室)

1日目 11:30 ~ 19:00  
2日目 8:30 ~ 19:30  
3日目 8:30 ~ 17:30

#### ◆懇親会

12月1日(月) 19:00 から、以下の会場で開催します(開場:18:00)。  
会 場:パレスホテル大宮(3F チェリールーム)  
参加方法:すでに申し込みは締切させていただきました。

#### ライブ配信ご視聴の方へ

#### ◆講演参加方法

事前参加登録(オンライン参加者情報登録及び銀行振り込み)を指定期日までに完了された方には、ライブ配信視聴用(Zoom Webinar)のURLを、開催3日前を目処に、メールでお送りいたします。参加される際には、Zoom上の参加者のお名前を以下の様に変更してください。

参加登録番号(ID) R\*\*\*\* + お名前(所属) 例: R0001 埼玉太郎(埼玉大)

参加登録番号が確認できない参加者は、強制的に退出させていただくことがあります。

#### ◆ポスターの閲覧

今年はoViceによるポスター発表展示はございません。  
大会当日の朝に送られるメールにて配布されるURL(Google drive上にPDFファイルをアップロードしたもので、ダウンロード、印刷不可としております)にてポスターの閲覧のみが可能です。

#### ◆連絡事務局

第4回日本抗体学会学術大会事務局  
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学大学院 理工学研究科  
TEL: 048-858-3531  
E-mail: conference@antibodysociety.jp

#### ◆第4回日本抗体学会展示事務局

株式会社小田原企画  
〒983-0024 仙台市宮城野区鶴巻1-22-63  
TEL: 022-388-8202 FAX: 022-388-8205  
E-mail: antibodysociety@odawara-web.com

# 口頭発表座長・演者へのご案内

## 《座長の方へ》

担当セッション開始予定時刻の15分前までに担当会場の演者・座長席へお越しいただき、次座長席（スクリーンに向かい、会場右前方）にてお待ちください。

オンライン視聴者からのQ&Aの質問への対応のため、インターネットに接続されたPCの準備をお願いします。

各セッションの進行は座長に一任いたしますが、終了時刻は厳守いただきますようお願いいたします。

## 《演者の方へ》

### 1. 発表会場

発表は、メイン会場「大ホール」を使い行われます。サテライト会場は、視聴のみです。

### 2. 発表時間

発表時間は各人で異なりますので、プログラムにてご確認をお願いします。この発表時間は、質疑応答を含めた時間ですので、少なくとも3～5分は質疑応答の時間を取っていただくようお願いいたします。

プログラムの円滑な進行のため、時間厳守をお願いいたします。タイマーにて発表者・座長の前方に残りの持ち時間を掲示しています。質疑応答は座長の指示に従ってください。

### 3. 講演はすべてPCによる発表のみです。原則、事前に発表データを大会事務局へお送り頂き、会場に用意したPC（Windows11）でご発表頂きます。会場での映写・音声とともに、Zoomでの配信が開始されます。

### 4. ご発表の1つ前の演題が始まった時点で、スタッフへ声をかけて頂き、会場内の次演者席（スクリーンに向かって会場左前方）にて待機してください。

### 5. ご発表時は、ご自身でマウスによるポインター等の操作を行いながら、会場のマイクを利用して発表してください。

### 6. 会場でのご発表は、サテライト会場の方ならびに会場にお越しになれない当会の参加者を対象にライブ配信されます。

### 7. スライドのサイズは4:3、16:9 どちらでも結構です。

### 8. PCからの音声は使用できません。

### 9. 発表者ツールは使用できない可能性があります。

### 10. Macintoshをご利用でWindowsへの対応が難しい場合は、HDMI出力端子のあるご自身のPCをお持ちください。

## 【データを持参される場合（Windowsのみ）】

- データは、USBメモリーでお持ちください。

上記メディア以外のご使用になれませんのでご注意ください。

- 講演会場ではWindows11を搭載したPCをご用意いたします。アプリケーションソフトは、Windows版 office365 PowerPoint です。
- 動画ファイルは配信にトラブルが起りやすいため、極力ご使用はお控えください。
- 発表データにリンクファイル（静止画・グラフ等）がある場合は、PowerPoint ファイルとリンクファイルを1つのフォルダにまとめて保存してください。
- 発表データ作成後、事前に必ずウイルスチェックと、作成に使用されたパソコン以外での動作確認をお願いいたします。
- 事務局が準備したPCにコピーした発表データは、事務局にて責任を持って消去いたします。

### 【PC を持参される場合（Windows、Macintosh とも可）】

- 会場の HDMI 端子につなげて発表していただきますが、接続がうまく行かないときは、大会で準備した PC での発表に切り替えることご承知おきください。
- バックアップ用データとしてメディア（USB メモリー）もお持ちください。
- 必ずパソコン付属の電源アダプターをお持ちください。
- パスワード設定、スクリーンセーバー、省電力設定はあらかじめ解除してください。

### 【利益相反（COI）の開示について】

本学会には規定はありませんが、必要に応じ、利益相反（COI）の有無を開示してください。  
以下のサンプルを参考に、開示スライドを発表スライドに含めてください。

|                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(演題名)</p> <p>(筆頭演者氏名)</p> <p>(所属)</p> <p>本演題の発表に際して開示すべき</p> <p>COI はありません。</p> | <p>(演題名)</p> <p>(筆頭演者氏名)</p> <p>(所属)</p> <p>本演題の発表に際して開示すべき</p> <p>COI は以下の通りです。</p> <div><div><div>1. 役員、顧問職なし</div><div>2. 株の保有なし</div><div>3. 特許権使用料なし</div><div>4. 講演料あり (〇〇製薬)</div><div>5. 原稿料なし</div><div>6. 研究費あり (〇〇製薬)</div><div>7. その他なし</div></div><div>}</div><div>金額は開示不要</div></div> |
| COI なしの場合                                                                          | COI ありの場合                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

# ポスター発表者へのご案内

## 1) 発表日程

ポスター発表の日程は以下の通りです。

1 日目：12 月 1 日(月) [A (前半)] 15:00 ～ 16:20

2 日目：12 月 2 日(火) [B (後半)] 15:20 ～ 16:40

加えて、コーヒープレーク（休憩）時にも発表をしていただいても構いません。

## 2) ポスターの貼り付け

ポスターのサイズは、W900mm × H2100mm に収まるサイズで作成をお願いします（A0 縦サイズが収まります）。ポスター会場の指定された番号のパネルに画鋏で貼り付けてください。

[A (前半)]

貼付：12 月 1 日(月) 11:30 ～ 14:00

[ポスター張替 (A ➡ B)]

12 月 2 日(火) 13:25 ～ 13:35 (ランチョンセミナー終了後)

\*張替え時間が 10 分のため、特に A のポスターの方は速やかな撤去をお願いします。

撤去されていない A ポスターは事務局の方で撤去させていただきます。

[B (後半)]

撤去：12 月 3 日(水) 14:45 ～ 15:15

\*撤去されていない A ポスターは事務局の方で撤去させていただきます。

\*回収されていないポスターは総合受付で保管させていただきます。

ただし、17:00 までに取りにこられない場合は廃棄させていただきます。

## 3) オンラインによるポスター展示のお願い

オンライン参加者のため、すべての発表者の方にオンラインによるポスター展示をお願いしています。発表ポスターの PDF（おおよそ 10M 以内のファイルの大きさのもの）を、11 月 25 日までに、要旨の送付と同じ要領で、マイページの論文投稿 > 論文投稿を編集する > 発表要旨（PDF）のファイルの選択 > を行って、今度はポスターファイルをアップロードしていただくと、置き換わりますので、これで提出完了です。提出完了の場合、通信欄に「ポスター提出完了」と書いていただくと助かります。

PDF ファイルは、オンラインでの閲覧のみで印刷、ダウンロードできないモードで掲示させていただきます。

# 日 程 表 《 1 日 目 》 12 月 1 日 月

| メイン会場 |                                                      | サテライト会場                                             |                                                                          | ポスター会場                       | 企業展示                |
|-------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 大ホール  |                                                      | ① 第 2 展示場                                           | ② 第 5 展示場                                                                | 第1・3・4展示場                    | 第 1 展示場             |
| 11:00 |                                                      |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 12:00 |                                                      |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 13:00 | 12:45~ Opening                                       |                                                     |                                                                          | 11:30~14:00<br>ポスター貼付        |                     |
|       | C-1 13:00~<br>森 千夏 (AGC株式会社)                         |                                                     |                                                                          |                              | 13:00~18:30<br>企業展示 |
|       | C-2 13:25~<br>堀内 貴之 (株式会社ちとせ研究所)                     |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 14:00 | O-1 13:50~<br>濱田 源実 (国立がん研究センター先端医療開発センター、東京大)       |                                                     |                                                                          |                              |                     |
|       | O-2 14:05~<br>永島 明咲 (鹿児島大)                           |                                                     |                                                                          | 12:40~<br>ポスター展示             |                     |
|       | O-3 14:20~<br>河野 響 (花王株式会社)                          |                                                     |                                                                          |                              |                     |
|       | O-4 14:35~<br>本田 雄士 (東京科学大、川崎産業振興財団ナノ/応用イノベーションセンター) |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 15:00 | Break                                                |                                                     |                                                                          |                              |                     |
|       | 15:00~16:15<br>Poster A                              | 15:05~15:35<br>ティータイムセミナー 1<br>[共催] Twist Bioscienc | 15:05~15:35<br>ティータイムセミナー 2<br>[共催] ギャルトリウス・ジャパン株式会社                     | 15:00~16:15<br>ポスター発表<br>[A] |                     |
| 16:00 | Break                                                | 15:45~16:15<br>ティータイムセミナー 3<br>[共催] WuXi Biologics  | 15:45~16:15<br>ティータイムセミナー 4<br>[共催] 株式会社ちとせ研究所 /<br>サーモフィッシュヤーサイエンティフィック |                              |                     |
|       | C-3 16:30~<br>浦崎 葉子 (第一三共株式会社)                       |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 17:00 | C-4 16:55~<br>野口 裕生 (中外製薬株式会社)                       |                                                     |                                                                          |                              |                     |
|       | C-5 17:20~<br>岩崎 慎治 (武田薬品工業株式会社)                     |                                                     |                                                                          | ポスター展示                       |                     |
| 18:00 | C-6 17:45~<br>平林 容子 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)     |                                                     |                                                                          |                              |                     |
|       | C-7 18:10~<br>渡部 直史 (大阪大)                            |                                                     |                                                                          |                              |                     |
| 19:00 | 19:00~ 懇 親 会 パレスホテル大宮 (中宴会場【チェリールーム】3F)              |                                                     |                                                                          |                              |                     |

# 日 程 表 《2日目》12月2日(火)

| メイン会場 |                                                                                                               | サテライト会場                                                |                                                           | ポスター会場                       | 企業展示               |                       |  |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------|-----------------------|--|
| 大ホール  |                                                                                                               | ① 第2展示場                                                | ② 第5展示場                                                   | 第1・3・4展示場                    | 第1展示場              |                       |  |
| 9:00  | C-8 9:00~<br>小出 昌平 (ニューヨーク大)                                                                                  |                                                        |                                                           | ~13:25<br>ポスター展示             | 9:00~18:50<br>企業展示 |                       |  |
|       | C-9 9:40~<br>秋田 英万 (東北大)                                                                                      |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 10:00 | C-10 10:05~<br>谷口 貴昭 (中外製薬株式会社)                                                                               |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 11:00 | C-11 11:00~<br>鈴木 睦昭 (国立遺伝学研究所)                                                                               |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | C-12 11:15~<br>佐藤 ちひろ (名古屋大)                                                                                  |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | C-13 11:35~<br>飛澤 悠葵 (岐阜大)                                                                                    |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 12:00 | C-14 11:55~<br>川島 博人 (千葉大)                                                                                    |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 13:00 | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | 12:25~13:25<br>ランチョンセミナー 1<br>[共催]<br>シュレーディングー株式会社                                                           | 12:25~13:25<br>ランチョンセミナー 2<br>[共催]<br>株式会社 エービー・サイエックス | 12:25~13:25<br>ランチョンセミナー 3<br>[共催]<br>Biointron (ペプチド研究所) |                              |                    | 13:25~13:35<br>ポスター撤去 |  |
|       | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 14:00 | C-15 13:35~<br>田中 義正 (長崎大)                                                                                    |                                                        |                                                           | 13:35~14:00<br>ポスター貼付        |                    |                       |  |
|       | C-16 13:35~<br>高橋 克 (トレジェムバイオファーマ株式会社)                                                                        |                                                        |                                                           | 14:00~<br>ポスター展示             |                    |                       |  |
| 15:00 | O-5 14:05~<br>赤澤 大輔 (国立感染症研究所)                                                                                |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | O-6 14:40~<br>林 義人 (ソニー株式会社)                                                                                  |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | O-7 14:55~<br>佐藤 恭平 (東北大)                                                                                     |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 16:00 | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | 15:20~16:40<br>Poster B                                                                                       | 15:25~15:55<br>ティータイムセミナー 5<br>[共催] 日本ウォーターズ株式会社       | 15:25~15:55<br>ティータイムセミナー 6<br>[共催] iBody 株式会社            | 15:20~16:40<br>ポスター発表<br>[B] |                    |                       |  |
|       | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 17:00 | C-17 17:50~<br>Jin-San Yoo (PharmAbcine, Inc.)                                                                |                                                        |                                                           | ポスター展示                       |                    |                       |  |
|       | C-18 17:15~<br>Tae Hyeon Yoo (Advanced College of Bio-Convergence Engineering, Ajou University, Suwon, Korea) |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | C-19 17:40~<br>松村 保広 (株式会社薬研研究所)                                                                              |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 18:00 | C-20 18:05~<br>谷中 冴子 (東京科学大)                                                                                  |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | C-21 18:30~<br>井上 浄 (株式会社リバネス)                                                                                |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
| 19:00 | Break                                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |
|       | 19:30~21:30<br>講演者懇親会                                                                                         |                                                        |                                                           |                              |                    |                       |  |

# 日 程 表 《3日目》12月3日(日)

| メイン会場 |                                               | サテライト会場                                                         |                                                          | ポスター会場                | 企業展示                 |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------|
| 大ホール  |                                               | ① 第2展示場                                                         | ② 第5展示場                                                  | 第1・3・4展示場             | 第1展示場                |
| 9:00  | C-22 9:00~<br>福田 正和 (中外製薬株式会社)                |                                                                 |                                                          | ~13:25<br>ポスター展示      | 9:00~15:00<br>企業展示   |
|       | C-23 9:25~<br>丸山 蒼平 (塩野義製薬株式会社)               |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 10:00 | C-24 9:50~<br>岡田 梨櫻 (大阪大)                     |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | C-25 10:15~<br>青山 道彦 (国立医薬品食品衛生研究所)           |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 11:00 | Break                                         |                                                                 |                                                          | 13:25~15:00<br>ポスター撤去 | 15:00~17:00<br>撤去・搬出 |
|       | O-8 11:10~<br>今村 比呂志 (長浜バイオ大)                 |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | O-9 11:25~<br>本多 菜々子 (東京薬科大)                  |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | O-10 11:40~<br>松本 崇 (株式会社リガク)                 |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 12:00 | O-11 11:55~<br>中西 猛 (大阪公立大)                   |                                                                 |                                                          | 13:25~15:00<br>ポスター撤去 | 15:00~17:00<br>撤去・搬出 |
|       | Break                                         |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 13:00 | 12:20~13:20<br>ランチョンセミナー 4<br>[共催]<br>東ソー株式会社 | 12:20~13:20<br>ランチョンセミナー 5<br>[共催]<br>ザルトリウス・ステディム・<br>ジャパン株式会社 | 12:20~13:20<br>ランチョンセミナー 6<br>[共催]<br>プロテインシンプル ジャパン株式会社 |                       |                      |
|       | Break                                         |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 14:00 | C-26 13:30~<br>松葉 隆雄 (東ソー株式会社)                |                                                                 |                                                          | 13:25~15:00<br>ポスター撤去 | 15:00~17:00<br>撤去・搬出 |
|       | C-27 13:55~<br>矢野 隆章 (徳島大)                    |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | C-28 14:20~<br>村上 明一 (徳島大)                    |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 15:00 | Break                                         |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | C-29 15:15~<br>黒田 大祐 (日本大)                    |                                                                 |                                                          | 13:25~15:00<br>ポスター撤去 | 15:00~17:00<br>撤去・搬出 |
| 16:00 | C-30 15:40~<br>黒田 裕 (東京農工大)                   |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | C-31 16:05~<br>星野 忠次 (千葉大)                    |                                                                 |                                                          |                       |                      |
|       | Closing                                       |                                                                 |                                                          |                       |                      |
| 17:00 |                                               |                                                                 |                                                          |                       |                      |

# プログラム

1日目>12月1日(月)

12:30-12:40 **開会の辞** (大会実行委員長 根本 直人)  
**会長の挨拶** (日本抗体学会会長 伊東 祐二)

座長：内山 進 (大阪大学)

- 13:00 **C-1**  
**AGC CDMO 事業の概要とオミクス解析を活用した抗体生産性向上への取り組み**  
AGC 株式会社 森 千夏
- 13:25 **C-2**  
**CHO-MK 細胞を用いた抗体医薬品製造用セルバンクの構築**  
株式会社ちとせ研究所 堀内 貴之
- 13:50 **O-1**  
**IL-7 標的 ADC による中枢神経系浸潤急性リンパ性白血病に対する革新的根治治療**  
国立がん研究センター先端医療開発センター、東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻 濱田 源実
- 14:05 **O-2**  
**脳貯留性抗体 AccumBody<sup>®</sup> の脳移行性を改良した TransAccumbody の開発**  
鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム 永島 明咲
- 14:20 **O-3**  
**VHH 抗体の物性制御によるイムノクロマト適合化の実現**  
花王株式会社 河野 響
- 14:35 **O-4**  
**ポリフェノール分子を基盤としたナノ粒子による細胞内抗体がん治療の実現**  
東京科学大学、川崎産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター 本田 雄士

15:00-16:20 **ポスター発表 [A]**

15:05-15:35 **ティータイムセミナー 1** (サテライト会場 1) 共催：Twist Bioscienc  
**構造情報に基づき、機械学習を用いて設計した in vitro 抗体配列ライブラリの検証**  
Twist Biopharma Solutions Hoa Giang, M.S.

**ティータイムセミナー 2** (サテライト会場 2) 共催：ザルトリウス・ジャパン株式会社  
**異なる宿主細胞を用いて生産した抗体や高次構造特性の異なる抗体の抗原に対する親和性測定**  
大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻、大阪大学先導的学際研究機構、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 山野-足立 範子

---

---

15:45-16:15 **ティータイムセミナー 3** (サテライト会場 1) 共催: WuXi Biologics  
**多様な二重特異性抗体フォーマットに対する高力価と高純度を実現するためのソリューション**  
Global Biologics Research, WuXi Biologics Vincent Hua

**ティータイムセミナー 4** (サテライト会場 2) 共催: 株式会社ちとせ研究所 / サーマフィッシャーサイエンティフィック  
**CHO-MK 細胞の高密度培養とファイバー型クロマトグラフィーを用いた清澄化によるプロセス効率化検討**  
株式会社ちとせ研究所 藤本 遼太郎

---

---

座長: 石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所)

16:30 **C-3**  
**抗体薬物複合体のバイオアナリシスおよびバイオトランスフォーメーション**  
第一三共株式会社 薬物動態研究所 浦崎 葉子

16:55 **C-4**  
**二重標的化による効率的な脳への送達と持続的な脳内滞留を実現する新規抗体技術**  
中外製薬株式会社 研究本部 野口 裕生

17:20 **C-5**  
**中枢を標的とした抗体の薬物動態評価**  
武田薬品工業株式会社 薬物動態研究所 岩崎 慎治

17:45 **C-6**  
**抗体医薬品の非臨床試験: NAMs 利用に関する現状と課題**  
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 平林 容子

13:00 **C-7**  
**RI 標識抗体によるセラノスティクス開発の最前線**  
大阪大学 大学院医学系研究科、大阪大学 放射線科学基盤機構 渡部 直史

## 2日目>12月2日(火)

---

座長: 根本 直人 (埼玉大学)

9:00 **C-8**  
**共有結合性低分子阻害剤を用いての、治療標的となる癌特異的ネオアンチゲンの創出**  
ニューヨーク大学医学部生物化学分子薬理学科  
ニューヨーク大学パールムターがんセンター 小出 昌平

9:40 **C-9**  
**脂質ナノ粒子を基盤とした生体内抗体産生および標的化技術**  
東北大学大学院薬学研究科 秋田 英万

10:05      **C-10**  
**細胞内標的を狙った経口中分子環状ペプチド創薬プラットフォームの開発と  
RAS 阻害剤 LUNA18 の創生**  
中外製薬株式会社 研究本部 モダリティ基盤研究部      谷口 貴昭

---

10:30-11:00    **コーヒープレーク（ポスタービューイング） 30 分**

---

座長：鈴木 睦昭（国立遺伝学研究所）、平林 淳（名古屋大学）

11:00      **C-11**  
**抗体医薬分野の糖鎖関連大学発ベンチャーの動向調査**  
国立遺伝学研究所 リサーチ&イノベーションブリッジセンター ABS 支援室      鈴木 睦昭

11:15      **C-12**  
**抗糖鎖抗体による血中糖鎖検出について**  
名古屋大学糖鎖生命コア研究所、名古屋大学院生命農学研究科      佐藤 ちひろ

11:35      **C-13**  
**皮下投与を拓く糖鎖改編：ヒアルロニダーゼ併用による抗体医薬の“バイオベ  
ター化”**  
岐阜大学医学部附属病院泌尿器科      飛澤 悠葵

11:55      **C-14**  
**免疫関連疾患治療効果を示す抗糖鎖モノクローナル抗体の開発**  
千葉大学大学院薬学研究科      川島 博人

---

---

10:30-11:00    **ランチョンセミナー 1（メイン会場） 共催：シュレーディングー株式会社**  
**講演 1：WaterMap が解き明かす改変抗体の作用メカニズム**  
東京大学大学院工学系研究科医療福祉工学開発評価研究センター      長門石 暁

**講演 2：AlphaFold を超えて：VHH 構造予測と CDR H3 の壁に挑む**  
シュレーディングー株式会社      市原 収

**ランチョンセミナー 2（サテライト会場 1） 共催：株式会社エービー・サイエックス**  
**ADC 創薬における LC-MS を用いたバイオアナリシス**  
アステラス製薬株式会社 オンコロジーリサーチ フォーマキュレーション & 創薬動態      八幡 季子

**ランチョンセミナー 3（サテライト会場 2） 共催：Biointron（ペプチド研究所）**  
**The History, Advantage, Structure, and Production of Bispecific  
Antibodies**  
Biointron Biological      Brady Wu

---

---

座長：津本 浩平（東京大学）

- 13:35 **C-15**  
**がんに対する新規 PD-1 免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発**  
長崎大学先端創薬イノベーションセンター 田中 義正
- 14:00 **C-16**  
**先天性無菌症患者の欠如菌を再生する新規抗体医薬品の開発**  
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 歯科口腔外科、トレジェムバイオフーマ株式会社 高橋 克
- 14:25 **O-5**  
**エムボックスウイルス感染を防御するヒト化 VHH 多価抗体の開発**  
国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 治療薬開発研究部 赤澤 大輔
- 14:40 **O-6**  
**ヘテロ細胞捕捉した大径キャリア内での分泌抗体捕捉とフローサイトメーターによるハイスループット抗体スクリーニング**  
ソニー株式会社 技術開発研究所 ライフサイエンステクノロジー研究開発部 林 義人
- 14:55 **O-7**  
**クライオ電子顕微鏡で明らかにした可変ドメインの再配列がもたらす二重特異性抗体の活性増強機構**  
東北大学 佐藤 恭平

---

---

15:00-16:20 **ポスター発表 [B]**

---

---

---

---

15:05-15:35 **ティータイムセミナー 5**（サテライト会場 1） 共催：日本ウォーターズ株式会社  
**CIU 技術によるタンパク質医薬品の高次構造解析の新たな可能性**  
第一三共株式会社 分析評価研究所 白木 悠大

**ティータイムセミナー 6**（サテライト会場 2） 共催：iBody 株式会社  
**iBody の独自技術：シングルセル技術と無細胞技術の融合による迅速で網羅的な高性能抗体の作製**  
iBody 株式会社 大内 将司

---

---

---

---

15:45-16:15 **ティータイムセミナー 7** (サテライト会場 1) 共催：株式会社糖鎖工学研究所

**Reimagining ADC Design with GlycOBI®: Enabling Site-Specific and Dual-Payload Conjugates**

OBI Pharma, Inc., Taipei, Taiwan

David Teng-Yi Huang

**ティータイムセミナー 8** (サテライト会場 2) 共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

**抗体医薬品の研究開発とリード創出を加速させるバイオ・ラッドのカスタム抗体作製サービス**

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

遠藤 隆主

---

---

座長：伊東 祐二 (鹿児島大学)

16:50

**C-17**

**Clinical Development of PMC-403, a novel TIE2 binding and activating human IgG**

PharmAbcine, Inc.

Jin-San Yoo

17:15

**C-18**

**Peptide-directed reactions for site-specific conjugation of native IgGs**

Advanced College of Bio-Convergence Engineering, Ajou University, Suwon, Korea

Tae Hyeon Yoo

17:40

**C-19**

**固形がんの特性に基づく抗体抗がん剤複合体の開発**

株式会社凜研究所、国立がん研究センター研究所免疫創薬分野

松村 保広

18:05

**C-20**

**抗体の機能を支える高次構造と構造動態**

自然科学研究機構生命創成探究センター (ExCELLS)、東京科学大学総合研究院フロンティア材料研究所

谷中 冴子

18:30

**C-21**

**躍動するディープテックベンチャー ～研究者の挑戦～**

株式会社リバネス

井上 浄

---

## 3日目>12月3日(木)

---

座長：梅津 光央 (東北大学)

9:00

**C-22**

**小角 X 線散乱法を用いた抗体医薬品の高次構造評価**

中外製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究部

福田 正和

9:25

**C-23**

**高濃度抗体製剤の溶液粘性に対するアニオン性添加剤の影響**

9:50

**C-24****振とう耐性に着目した新たな製剤条件最適化法の提案**

大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻

岡田 梨櫻

10:15

**C-25****部位特異的修飾コンジュゲート抗体の品質特性解析**

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部

青山 道彦

10:40-11:10 コーヒーブレイク（ポスタービューイング）30 分

座長：冨塚 一磨（東京薬科大学）、本田 真也（産業技術総合研究所）

11:10

**O-8****IgG 抗体の第二フォールド状態の実体**

長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

今村 比呂志

11:25

**O-9****染色体工学技術の抗体研究への応用(4) 多様化誘導ヒト抗体ディスプレイシステムによる Wnt/ $\beta$  カテニンシグナル制御分子の探索**

東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科

本多 菜々子

11:40

**O-10****MoleQlyze<sup>®</sup> - 溶液分子投影装置が解き明かす溶液中の VHH fragment およびその抗原複合体の形状と動態**

株式会社リガク

松本 崇

11:15

**O-11****イソペプチド結合導入抗体 iSoMAb の開発**

大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻

中西 猛

12:20-13:20 ランチョンセミナー 4（メイン会場） 共催：東ソー株式会社

**抗体糖鎖制御および ADC 創製におけるカラムクロマトグラフィーの実践的活用**

星薬科大学薬学部、東北大学大学院薬学研究科

眞鍋 史乃

ランチョンセミナー 5（サテライト会場 1） 共催：ザルトリウス・ステディム・ジャパン株式会社

**AI と Process Intensification を融合した次世代 CHO 細胞株開発サービス — Sartorius CLD ワークフローの革新**

ザルトリウス・ステディム・ジャパン株式会社

辻 融

ザルトリウス・ステディム・ジャパン株式会社

秋山 葉里

ランチョンセミナー 6（サテライト会場 2） 共催：プロテインシンプル ジャパン株式会社

**Maurice による抗体医薬品特性評価の迅速・高効率化**

プロテインシンプルジャパン株式会社 アプリケーションサイエンティスト

石橋 淳

座長：村上 明一（徳島大学）、根本 直人（埼玉大学）

- 13:30      **C-26**  
**診断薬用抗体の単離と性能評価 ― 市販抗体との比較と今後の展開 ―**  
東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部第一開発部      松葉 隆雄
- 13:55      **C-27**  
**微小抗体を用いた次世代光免疫センシング**  
徳島大学 ポスト LED フォトニクス研究所      矢野 隆章
- 14:20      **C-28**  
**ファージ提示法を基盤とした抗体作製法の改良**  
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔微生物学分野      村上 明一

---

14:45-15:15    **コーヒープレーク（ポスタービューイング） 30 分**

---

座長：白井 宏樹（理化学研究所）

- 15:15      **C-29**  
**B 細胞レパトア解析と抗体分子設計**  
日本大学 文理学部 生命科学科      黒田 大祐
- 15:40      **C-30**  
**抗体の可溶性凝集体による ADA (抗医薬抗体) 誘導の物理化学的・免疫学的機構の解明とその抑制戦略の構築**  
東京農工大学工学研究院      黒田 裕
- 16:05      **C-31**  
**抗体分子の計算設計と成熟化改変**  
千葉大学大学院薬学研究院・理論創薬研究室      星野 忠次

---

16:30      **閉会の辞**（日本抗体学会副会長 根本 直人）\* ポスター賞表彰を含む

---

# ポスター発表プログラム

1日目：12月1日(月) ポスター番号 A-1～A-103 発表

2日目：12月2日(火) ポスター番号 B-1～B-102 発表

- A-001**     **SARS-CoV-2 Spike タンパク質に対する抗 S2 抗体 CvMab-62 の構造学的解析**  
Structural analysis of SARS-CoV-2 spike protein epitope recognized by anti-S2 antibody CvMab-62  
東京理科大学薬学部     今村 笑里
- A-002**     **腸管上皮細胞における抗体の膜透過性の検討**  
Analysis of Antibody Membrane Permeability in Intestinal Epithelial Cells  
広島大学大学院医系科学研究科免疫学     宗田 七海
- A-003**     **堅牢なチャージバリエーション分析のためのイオン交換クロマトグラフィー分離の最適化**  
Optimization of ion-exchange chromatographic separations for robust charge variant analysis  
Thermo Fisher Scientific     竹内 正和
- A-004**     **疎水性相互作用クロマトグラフィー分離を活用した抗体分析事例**  
Case study of antibody analysis using hydrophobic interaction chromatography  
Thermo Fisher Scientific     服部 英靖
- A-005**     **VHH 抗体の親和性に関する適応度地形の実験的描像**  
Experimental depiction of fitness landscapes concerning VHH antibody affinity  
埼玉大学理工学研究科     伊藤 如乃
- A-006**     **抗体の品質評価のための NMR 構造解析の高度化**  
Advancement of Methods for Structural Evaluation of Antibody Molecules Using NMR  
九大院薬、東京科学大学院物質理工     小関 悠希
- A-007**     **卓上型 MALDI-TOF MS を用いた新規修飾抗体の DAR 分析**  
Drug-to-Antibody Ratio (DAR) Determination of Antibodies with Novel Modifications Using a Benchtop MALDI-TOF MS  
株式会社島津製作所     西風 隆司
- A-008**     **ヒト IgE-Fc における高マンノース型糖鎖の組み合わせと機能的役割の解明**  
Combination and functional roles of high mannose-type glycans in human IgE-Fc  
東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学     野村 桜子
- A-009**     **樹脂製シリンジにおける抗体吸着のメカニズム解析：親水性の樹脂の評価**  
Mechanistic Insights into Antibody Adsorption in Polymer Syringes: Hydrophilic Resin Evaluation  
株式会社ユー・メディコ     柴田 耕生

- A-010 薬剤分子の血中滞留性向上のためのヒト抗 HSA 抗体の開発**  
東京科学大学生命理工学院 八鍬 佑樹
- A-011 Native-like subvisible aggregates of mAb 4713 produced by stirring induce neutralizing antibodies thereby reducing its therapeutic activity**  
Tokyo University of Agriculture and Technology Sanjida Yesmin
- A-012 リツキシマブ軽鎖可変領域の多量化挙動**  
Studies on the association behavior of the rituximab light chain  
奈良先端大先端科技 南部 蓮琳
- A-013 3D ドメインスワッピングにより 2 量化する抗体軽鎖可変領域の会合挙動と銅イオンが 2 量化へ及ぼす影響**  
Association property of an antibody light chain variable region that dimerizes by 3D domain swapping and the effect of Cu(II) ions on the dimerization  
奈良先端科学技術大学院大学 高橋 鈴乃
- A-014 分子動力学シミュレーションおよび水素重水素交換質量分析による IgA2 Fc ドメイン構造安定性解析**  
Structural Stability Analysis of IgA2 Fc Domains using MD Simulations and HDX-MS  
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 浅野 颯太
- A-015 溶媒組成が抗体の物性に与える変化のラマンスペクトル解析**  
Raman spectra analysis of the physical property of antibody associated with the change of solvent conditions  
株式会社堀場製作所 佐藤 優穂
- A-016 非対称型 Fc 領域を有するサマーヒトキメラ二重特異性抗体の設計**  
Design of bispecific antibody Fc region employing a shark-human chimeric and asymmetric format  
大鵬薬品工業株式会社、徳島大学大学院 創成科学研究科 棟朝 亮太
- A-017 物性試験解析の標準化と自動化による候補抗体の開発可能性評価の加速**  
Accelerating Developability Assessment of Antibody Through Standardization and Automation of Biophysical Assay Data Analysis  
Genedata KK, Tokyo, Japan 新原 茉利奈
- A-018 免疫応答後期に働く抗 pMHC-II 抗体の構造生物学的研究**  
Structural analysis of anti-pMHC-II antibodies associated with the late-phase immune response  
大阪大学 蛋白質研究所 藤本 咲妃
- A-019 N 結合型糖鎖が抗体医薬品の化学的安定性へ及ぼす影響**  
Impact of N-Linked Glycans on the Physical and Chemical Stability of Antibody Therapeutics  
味の素株式会社 敷田 奈都紀

- A-020 Online LC/Inline Raman を用いた抗体医薬品連続生産工程の抗体濃度自動分析技術の開発**  
Development of Automated Antibody Concentration Analysis Technology for Continuous Manufacturing Process of Antibody Therapeutics Using Online LC/Inline Raman  
中外製薬株式会社 山崎 公介
- A-021 近紫外 CD スペクトルと統計的解析手法を用いた抗体医薬品の高次構造評価法の開発**  
Structural fingerprint of therapeutic monoclonal antibodies determined using combination of near-UV CD spectra and statistical analysis  
国立医薬品食品衛生研究所 木吉 真人
- A-022 タンパク質吸着防止材 prevelex(r) APX の開発とバイオ医薬品製造・保管プロセスへの適用検討**  
Development of the protein adsorption-preventing material prevelex(r) APX and its application in biopharmaceutical manufacturing and storage processes  
日産化学株式会社 磯野 太一
- A-023 冷蔵保管中の微弱振動によるタンパク質凝集の促進**  
Impact of Weak Vibration Generated by a Refrigerator on Protein Aggregation  
大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻、大鵬薬品工業(株)製剤研究部 城 慎二
- A-024 抗体医薬品の連続精製工程における抗体由来不純物の迅速モニタリング技術の開発**  
Development of rapid monitoring technology for product-related variants in the continuous purification processes of therapeutic antibodies  
中外製薬株式会社 前島 敦
- A-025 気液界面におけるタンパク質凝集の物理機構解明に向けた気液二相流の数値シミュレーション**  
Numerical simulations of gas-liquid two-phase flow for clarifying the mechanism of protein aggregation at the gas-liquid interface  
大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 逢坂 望
- A-026 FcRn ヒト化 Tg マウスモデルを用いた抗体医薬品の PK 評価**  
PK Evaluation of Antibody Therapeutics using FcRn-Humanized Tg Mouse Models  
プレクリニカルリサーチサービス、Jackson Laboratory Japan 株式会社 オケヨ ケネディ
- A-027 GMP 基準での超遠心分析のための解析ソフトウェアの開発**  
Development of Software for Analytical Ultracentrifugation Under GMP environment  
株式会社ユー・メディコ 栗之丸 隆章
- A-028 複数の分光法を用いた培養液中成分の検出と検量線モデルの構築**  
Detection of components in culture media using multiple spectroscopic techniques and development of calibration curve models  
株式会社堀場製作所 山口 将平

- A-029 抗体の糖鎖および安定性解析に向けた FcγRIIIa カラムおよび FcRn カラムの開発**  
Development of FcγRIIIa and FcRn Affinity Columns for the Analysis of Antibody Glycosylation and Stability  
東ソー株式会社 湯本 達弥
- A-030 8 連キャピラリー電気泳動プラットフォームを用いたネイティブ蛍光検出によるバイオ医薬品の電荷不均一性解析**  
Advancing biopharmaceutical molecule charge heterogeneity analysis with native fluorescence detection on a multi-capillary electrophoresis platform  
株式会社エービー・サイエックス 花田 篤志
- A-031 頑健な Peptide mapping-UV 試験法の構築**  
Method development of robust peptide mapping-UV  
中外製薬株式会社 尾山 博章
- A-032 icIEF-UV/MS 及び LC-MS ワークフローによるバイオ医薬品の糖化モニタリング及びキャラクタリゼーション**  
Monitoring and Characterization of glycation in a biotherapeutics degradation study using icIEF-UV/MS and LC-MS workflows  
株式会社エービー・サイエックス 二上 俊太
- A-033 Orbitrap Excedion Pro: 新たなハイブリッド型質量分析計を用いた抗体医薬品特性解析**  
Characterization of Antibody Drugs Using a Novel Hybrid Mass Spectrometer  
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 永島 良樹
- A-034 A Platform Solution for Viral Clearance Testing using NGS in Biologics Production**  
株式会社キアゲン サービスソリューション部 平田 直彦
- A-035 3 次元ホモダイン検出法（3D-HLD 法）を用いたタンパク質凝集体とシリコンオイルの識別**  
Identification of Protein Aggregates and Silicone Oil Droplets Using Three-Dimensional Homodyne Light Detection (3DHLD)  
株式会社日立ハイテック、株式会社日立製作所 研究開発グループ、  
大阪大学大学院 工学研究科 生物工学専攻 大澤 賢太郎
- A-036 Protein A に代わる新規抗体精製方法の開発と精製抗体の性能評価**  
Development of a novel crosslinking enzyme fusion protein enabling tag-free modification of antibody fragments  
九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門 室園 晃輝
- A-037 フラグメント抗体のタグフリー修飾を可能にする新規架橋酵素融合タンパク質の開発**  
Development of a novel crosslinking enzyme fusion protein enabling tag-free modification of antibody fragments  
九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門 室園 晃輝

- A-038 ナノボディの熱安定性予測のためにファインチューニングされたタンパク質言語モデルの機構的解釈**  
 Mechanistic interpretability of a Protein Language Model Fine-Tuned for Nanobody Thermostability  
 埼玉大学、株式会社 Epsilon Molecular Engineering 村上 泰平
- A-039 Long read sequencer による抗体配列解析**  
 Antibody sequence analysis using long read sequencer  
 株式会社ペルセウスプロテオミクス 横堀 紘祐
- A-040 会合特性を持ちやすい短鎖 CDR3 VHH 抗体のモノマー安定化足場の選定と標的特異的抗体の取得**  
 A VHH scaffold adaptable to short CDR3 and target-specific antibody generation  
 東北大・院工・バイオ工 渡邊 佑斗
- A-041 High-Throughput Label-free Single Domain Antibody Discovery by Direct Kinetics Screening in Periplasmic Extracts Using Strep-Tactin XT Capture**  
 Gator Bio, Inc Hendrick Loei
- A-042 In vivo conversion to broader and non-self-reactive neutralizing influenza virus-specific antibody**  
 関西医科大学 附属免疫医学研究所 免疫部門、理化学研究所 福山 英啓
- A-043 新規 CHO-MK 細胞の樹立と医療用タンパク質生産の効率化に向けた最適な培養法の確立**  
 Establishment of a novel CHO-MK cell line and optimization of culture methods for efficient production of therapeutic proteins  
 株式会社ちとせ研究所 岩本 実
- A-044 データ駆動型アプローチを用いた免疫グロブリン G (IgG) の潜在的機能部位の探索**  
 Exploration of Potential Functional Sites in Immunoglobulin G (IgG) Using a Data-Driven Approach  
 東京科学大学 田川 純平
- A-045 ジルコニア粒子を用いた IgA 精製の原理解明**  
 Mechanistic Insights into IgA Purification Using Zirconia Particles  
 産総研・デバイス材料、筑波大・数理 狩野 彰吾
- A-046 無細胞タンパク質合成系と SPR を統合した VHH 変異体のハイスループット親和性スクリーニング**  
 High-throughput Affinity Screening of VHH Variants Integrating Cell-Free Protein Synthesis and SPR  
 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻 キム ギフン
- A-047 抗体設計 R&D 加速に向けた抗体結合予測 AI の評価**  
 Evaluation of AI for Antibody Binding Prediction to Accelerate Antibody Design R&D  
 MI-6 株式会社 林 卓人

- A-048 タンパク質免疫原性低下のための配列設計法の開発**  
Development of sequence design methods for reducing protein immunogenicity  
北里大学 未来工学部 データサイエンス学科 来見田 遥一
- A-049 染色体工学技術の抗体研究への応用(3)：抗体 CDR を標的としたゲノム編集誘導性分子多様化による Mammalian Display の構築**  
Construction of Mammalian Display for Antibody CDRs Targeting Molecular Diversification via Genome Editing  
東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科 櫻井 諒一
- A-050 細菌性食中毒制御に向けた多価迅速診断プラットフォームの構築**  
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 吉井 健
- A-051 一本鎖 DNA (DNA アプタマー) の三次構造を認識する VHH 抗体の創製**  
Creation of VHH Antibodies Recognizing the Tertiary Structure of Single-Stranded DNA  
埼玉大学 梶賀 直希
- A-052 フローサイトメーターを用いたリポソームと抗体の相互作用解析**  
Analysis of liposome-antibody interactions using a flow cytometer  
産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム研究部門 奥田 徹哉
- A-053 2 種の抗体酵素複合体の協奏反応に基づく大腸菌の迅速簡便な検出**  
Rapid and convenient E. coli detection utilizing a cooperative reaction between two kinds of antibody-enzyme complexes  
東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 泉 翔悟
- A-054 高感度免疫検査への利用を目指したアルカリホスファターゼ融合単鎖抗体の開発**  
Development of alkaline phosphatase-fused single-chain variable fragment for sensitive enzyme immunoassay  
京都工芸繊維大学大学院機能物質化学専攻 大村 美結
- A-055 PpL1 融合ラクトフェリンとウサギ scFv を利用した新規イムノクロマト検査法の開発**  
Development of a new lateral-flow immunoassay using PpL1- fused lactoferrin and rabbit scFv  
京工繊大院物質・材料化学専攻 山本 陽大
- A-056 粒子鋳型乳化を利用したシングルセル解析による抗体重鎖・軽鎖の組の取得法の開発**  
Development of a screening method for identifying antibody heavy and light chain pairings using single-cell RNA sequencing with particle-templated emulsification  
京都大学大学院工学研究科 小林 勇毅
- A-057 VHH 抗体の物性制御によるイムノクロマト適合化の実現**  
Development of VHH-Based Immunochromatography via Property Control  
花王株式会社 バイオ・マテリアルサイエンス研究所 河野 響

- A-058** **cDNA ディスプレイスクリーニングで得られた NGS 解析からの大量並列的解離定数推定法**  
High-Throughput Estimation of Dissociation Constants from NGS Data Obtained by cDNA Display Screening  
株式会社 Epsilon Molecular Engineering 熊地 重文
- A-059** **cDNA ディスプレイ法における凝集リスクの低い VHH 抗体取得のための HIC を利用した新規選抜法の開発**  
Development of a novel selection method using HIC to obtain VHH antibodies with low aggregation risk via cDNA display.  
株式会社 Epsilon Molecular Engineering 鈴木 翔
- A-060** **次々世代がん抗体医薬を拓くサメ IgNAR 抗体の応用**  
Applications of Shark IgNAR Antibodies Pioneering Next-Generation Cancer Antibody Therapeutics  
東京大学 大学院新領域創成科学研究科、国立がん研究センター 新薬開発分野 新田 有紀
- A-061** **ペプチド一分子配列決定法に向けた N 末端アミノ酸認識人工抗体の創製**  
Development of Artificial Antibodies Recognizing N-terminal Amino Acids for Single-Molecule Peptide Sequencing  
名古屋大院工 壁谷 優汰
- A-062** **抗原搭載 PEG 修飾リポソームの脾臓免疫による膜タンパク質に対する抗体誘導:PEG 修飾リポソーム前投与の有無が抗体誘導と抗原搭載 PEG 修飾リポソームの脾臓送達に及ぼす影響の評価**  
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野 東 隆典
- A-063** **酵母ディスプレイを用いた CMV pp71 抗原特異的ヒト scFv の単離**  
Isolation of human scFv specific to CMV pp71 antigen using yeast display  
東京都医学総合研究所・がん免疫プロジェクト、東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 丹野 秀崇
- A-064** **FR2 ノックアウトマウスを用いて作製した抗マウス TNFR2 モノクローナル抗体の特性解析**  
Novel anti-mouse TNFR2 monoclonal antibodies generated in TNFR2-knockout mice  
神戸学院大薬、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 井上 雅己
- A-065** **End-to-End の抗体製造プラットフォームによって免疫細胞治療の未来を切り拓く**  
Unlocking the Future of Immune Cell Therapy with an End-to-End Antibody Production Platform  
Bio-Techne・Cell and Gene Therapy 笹本 賢一
- A-066** **膜タンパク質を搭載した PEG 修飾リポソームの脾臓免疫による抗体誘導評価: ACE2 に対するモノクローナル抗体の作製および結合特異性評価**  
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野 田中 晴樹
- A-067** **MIHS-SAST 法の改良による 1 種類抗原でのモノクローナル抗体作製法の開発**  
Refined Approach for Efficient Monoclonal Antibody Production Employing a Single Antigen via the MIHS-SAST Technique  
横浜国大 院・理工学府 川村 芽生

- A-068**      **Pala システムの単一細胞分注性能と抗体スクリーニングへの応用**  
 High-Precision Single-Cell Dispensing with the Pala System and Its Application to Antibody Screening  
 プロテインシンプル ジャパン株式会社      山下 哲司
- A-069**      **細胞融合法による二重特異性抗体の作製とショットガンアプローチ法の応用**  
 Production of Bispecific Antibodies via Cell Fusion and Application of the Shotgun Approach Method  
 大阪公立大学大学院工学研究科      横山 智哉子
- A-070**      **ファージディスプレイ法と次世代シーケンサーを用いた抗体単離方法の開発**  
 Development of Antibody Isolation Methods Using Phage Display and Next-Generation Sequencing  
 株式会社ペルセウスプロテオミクス      渡邊 幸夫
- A-071**      **ピキア酵母での最適な低分子抗体生産に向けて**  
 Strain Engineering for Efficient Production of Antibody Fragments in *Komagataella phaffii*  
 神戸大学先端バイオ工学研究センター      伊藤 洋一郎
- A-072**      **腸内細菌に対するヒトモノクローナル抗体取得と大量合成**  
 Acquisition and Mass Synthesis of Human Monoclonal Antibodies Against Intestinal Bacteria  
 名古屋大学大学院生命農学研究科      横尾 幸音
- A-073**      **関節リウマチ治療を目指した hTNF $\alpha$  ペプチドの脂質ナノ粒子化による抗体誘導評価**  
 Evaluation of antibody induction by human TNF $\alpha$  (hTNF $\alpha$ ) peptide in lipid nanoparticles for rheumatoid arthritis therapy  
 徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野      福本 真子
- A-074**      **生体内で抗 PD-1 抗体を誘導する PD-1 ペプチドワクチンに関する基礎的検討：抗腫瘍効果及び腫瘍内 T 細胞の変化**  
 徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野      山本 遥香
- A-075**      **多重特異性抗体作製のための L 鎖共通化技術**  
 Development of a Common Light Chain Platform for Multi-specific Antibody Construction.  
 株式会社ペルセウスプロテオミクス      鵜飼 由範
- A-076**      **シアノバクテリアを用いた環状化低分子二重特異性がん治療抗体の調製と部位特異的修飾**  
 Preparation and site-specific modification of a cyclic small cancer therapeutic bispecific antibody using cyanobacteria  
 東京農工大学大学院工学府生命工学専攻      光部 美紅
- A-077**      **抗体複合体への抗体位置特異的修飾法 AJICAP<sup>®</sup> の応用**  
 Expanding the Potential of Antibody Conjugates: AJICAP Technology for Versatile DAR Control and Novel Modality Applications  
 味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所      丸茂 晴

- A-078 膵・大腸がんにおける CAF 介在性抗体送達と免疫反応の比較**  
CAF-mediated antibody delivery and immune response in pancreatic and colorectal cancer.  
東京大学大学院新領域創成科学研究科、国立がん研究センター先端医療開発センター 辻 佑樹
- A-079 クライオ電子顕微鏡が解き明かすヒト化抗 TNF $\alpha$  NANOBODY<sup>®</sup> 分子 Ozoralizumab の相互作用メカニズム**  
Cryo-EM Elucidates the Interaction Mechanism of Ozoralizumab, a Humanized Anti-TNF $\alpha$  NANOBODY<sup>®</sup> Compound  
大正製薬株式会社 美馬 将司
- A-080 Bioanalytical Strategy for Degradable-Antibody Conjugate (DAC) ORM-5029 after intravenous administration in male BALB/C mice**  
ICE Bioscience Inc. LiLi, Tong Wu
- A-081 An integrated platform for diverse ADC payload screening and evaluation**  
ICE Bioscience Inc. Ying Meng, Fan Huang
- A-082 A Comprehensive Platform for Characterization and Evaluation of Degradable-Antibody Conjugates**  
ICE Bioscience Inc. Fan Huang, Rui Song
- A-083 がん近傍で活性化される二重特異性プロドラッグ抗体**  
Prodrug bispecific antibodies that are activated at tumors  
東京農工大学大学院工学府生命工学専攻、東京農工大学グローバルイノベーション研究院 三浦 大明
- A-084 ポリフェノール分子を基盤としたナノ粒子による細胞内抗体がん治療の実現**  
Polyphenol polymer-based nanoparticle for Cancer Treatment Using Intracellular Antibodies  
東京科学大学、川崎産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター 本田 雄士
- A-085 icIEF-MS を利用したネイティブ条件下での抗体薬物結合体の電荷不均一性の特性評価**  
Antibody-Drug Conjugate (ADC) Heterogeneity Characterization Under Native Condition with Imaged Capillary Isoelectric Focusing Coupled to High-Resolution Mass Spectrometry (icIEF-MS)  
Advanced Electrophoresis Solutions LTD., Canada Huang Tiemin  
福岡工業大学工学部 呉 行正
- A-086 抗体強制劣化物のイオン交換クロマトグラフィー、キャピラリー等電点電気泳動及びペプチドマップのデータの比較**  
Comparison of data obtained from ion-exchange chromatography, imaging capillary isoelectric focusing, and peptide mapping of forced degraded antibody samples.  
国立医薬品食品衛生研究所、生物薬品部 原園 景
- A-087 阻害活性を有する抗 VEGF 鏡像 VHH 抗体の取得とマウスモデルによる免疫原性評価**  
Development of Anti-VEGF Mirror-Image VHH Antibody with Inhibitory Activity and Immunogenicity Evaluation in a Mouse Model  
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 分子生命基礎医療科学 前田 佳夕

- A-088** **Biacore™ cap-tag capture kit を用いた迅速ナノボディ - 標的相互作用測定**  
Rapid characterization of nanobody-target interactions using Biacore™ cap-tag capture kit  
Cytiva, Tokyo, Japan Gen Takata
- A-089** **抗 CD26 抗体は大腸癌細胞の上皮間葉転換を抑制し、転移の進行を阻止する**  
Anti-CD26 Antibody Suppresses Epithelial–Mesenchymal Transition in Colorectal Cancer Cells and Inhibits Metastatic Progression  
静岡災害医学研究センター、順天堂大学医学部附属静岡病院 岩尾 憲明
- A-090** **抗体修飾位置を制御可能な新規架橋酵素融合タンパク質を用いた抗体薬物複合体の作製および機能評価**  
Controlling antibody modification positions with novel crosslinking enzyme fusion for ADC preparation and functional evaluation  
九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門 西岡 莉子
- A-091** **IL-7 受容体  $\alpha$  鎖に対する新規  $\alpha$  線放出核種 At-211 搭載抗体の開発**  
Development of a novel astatine-211 labeled antibody against interleukin-7 receptor  
国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野 津村 遼
- A-092** **EpCAM 標的抗体  $^{111}\text{In}$ -DTPA-Ep4-1 の *in vitro* および *in vivo* 評価**  
*In vitro* and *in vivo* evaluation of EpCAM-targeted antibody  $^{111}\text{In}$ -DTPA-Ep4-1  
金沢大学 大重 聡友
- A-093** **振とう耐性に着目した新たな製剤条件最適化法の提案**  
A New Paradigm for Antibody Formulation Optimization under Agitation Stress  
大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 岡田 梨櫻
- A-094** **オーファン Class C GPCR に属する GPRC5 ファミリーを標的とした新規抗体群の作製と特性解析**  
Production and Epitope Characterization of Novel Antibodies Targeting the GPRC5 Family of Orphan Class C GPCRs  
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 升田 雄士
- A-095** **Comprehensive isoform annotation and quantitation in DIA data**  
プロテインメトリックス 栗本 綾子
- A-096** **Cys 結合型抗体薬物複合体 (ADC) の包括的な特性評価：ネイティブ MS・ミドルダウン MS・ペプチドマップの活用**  
株式会社エービー・サイエックス 稲垣 知恵
- A-097** **HPLC による抗体薬物複合体の分析条件の検討**  
Examination of analytical conditions for antibody-drug conjugates by HPLC  
東ソー株式会社 伊藤 誠治
- A-098** **EphA2 抗体による悪性腫瘍に対する新規核医学セラノスティクス**  
Novel nuclear medicine theranostics for malignant tumors using EphA2 antibodies  
東洋大学 ライフイノベーション研究所、順天堂大学 静岡災害医学研究センター 岩澤 卓弥

- A-099**      **IL-7R 標的 ADC による中枢神経系浸潤急性リンパ性白血病に対する革新的根治治療**  
Innovative Curative Therapy for CNS-Infiltrating Acute Lymphoblastic Leukemia Using IL-7R-Targeted ADC  
国立がん研究センター先端医療開発センター新薬開発分野、  
東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻      濱田 源実
- A-100**      **人工ヒト化 VHH ライブラリ (PharmaLogical® Library) を用いた黄体形成ホルモンに対する VHH 抗体の開発**  
Development of anti-Luteinizing Hormone VHH antibodies using the PharmaLogical® humanized VHH library  
あすか製薬株式会社 創薬研究本部      山口 祐之
- A-101**      **Multi-Column Chromatography (MCC) におけるシンプル化したスケールドダウンモデルの開発**  
Development of a Simplified Scale-Down Model for Multi-Column Chromatography (MCC)  
中外製薬株式会社      永里 匠
- A-102**      **脳貯留性抗体 AccumBody® の脳移行性を改良した TransAccumbody の開発**  
Development of TransAccumBody: A Next-Generation AccumBody® with Enhanced Brain Translocation  
鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム      永島 明咲
- A-103**      **バイオ医薬品におけるスクランブルされたジスルフィド結合の自動かつ堅牢な同定**  
Automated and Robust Identification of Scrambled Disulfide Bonds in Biotherapeutics  
Genedata AG, Basel, Switzerland      Tsubasa Ohashi
- 
- B-001**      **Enzymatic Strategies for Robust ADC Generation and Streamlined Analysis**  
Genovis AB, Kävlinge, Sweden.      Corentin Revel
- B-002**      **分子内ネットワーク解析による抗 EGFR VHH の活性増強を目的としたフレームワーク変異の探索**  
Exploring Framework Mutations to Enhance Anti-EGFR VHH Potency through Intramolecular Network Analysis  
東京科学大学物質理工学院      新町 洸貴
- B-003**      **電子捕獲解離 (ECD) を搭載したサイクリックイオンモビリティ質量分析による抗体の特性解析**  
Cyclic ion mobility-enabled electron-capture dissociation for the characterization of biotherapeutics  
日本ウォーターズ      寺崎 真樹

- B-004**      **変異体を利用した抗体軽鎖 #4 の 3D ドメインスワッピングと アミロイド線維化に関する研究**  
Studies on 3D domain swapping and amyloid fibrillation of antibody light chain #4 using variants  
奈良先端科学技術大学院大学      澤田 涼慧
- B-005**      **ドメインスワッピングにより多量化する抗体軽鎖可変領域の探索**  
Search of an antibody light chain variable region that oligomerizes by 3D domain swapping  
奈良先端科学技術大学院大学      北埜 真珠
- B-006**      **トラスツズマブエムタンシンのインタクト・ペプチド特性解析**  
Intact-and Peptide-Level Characterization of Trastuzumab Emtansine In Vitro Transformation  
アジレント・テクノロジー      林 明生
- B-007**      **抗ヒトポドプラニン抗体 LpMab-21 の X 線結晶構造解析**  
Crystallographic analysis of anti-podoplanin antibody LpMab-21 antigen-binding fragment  
横浜市立大学大学院生命医科学研究科      開発 隼
- B-008**      **ADC の DAR、サイズ評価、電荷異性体分析における吸着及び分離度への添加剤の寄与**  
Contribution of additives to adsorption and resolution in DAR, size evaluation, and charge isomer analysis of ADCs  
塩野義製薬株式会社 分析評価研究所      大野 瑛倭香
- B-009**      **ヒト IgA1-Fc の二量体形成および安定性に対する N- 型糖鎖の部位特異的役割**  
Site-Specific Role of N-Glycans in Dimerization and Stability of Human IgA1-Fc  
東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学      山口 芳樹
- B-010**      **クライオ電子顕微鏡で明らかにした可変ドメインの再配列がもたらす二重特異性抗体の活性増強機構**  
Cryo-EM reveals the mechanism of activity enhancement by variable domain rearrangement in bispecific antibodies  
東北大学 大学院生命科学研究科      佐藤 恭平
- B-011**      **二重特異性タンデム型 scFv 抗体の凝集抑制を目指したアミノ酸配列改変**  
Engineering of amino acid residues in bispecific tandem scFv for suppressing antibody aggregation  
徳島大学大学院創成科学研究科      山崎 美紅
- B-012**      **LC-MALS による抗体薬物複合体の品質特性測定**  
Multi-Attribute Quantitation of Antibody-Drug Conjugates by LC-MALS  
日本ウォーターズ      雲財 悟
- B-013**      **新規対称型バイスペシフィック抗体 REGULGENT™ の創製と物理化学的特性解析**  
Engineering and physicochemical characterization of a novel, stable, symmetric bispecific antibody with dual target binding using a common light chain  
協和キリン株式会社      山崎 夏穂莉

- B-014 各種抗トランスフェリン受容体抗体の機能評価に基づく二重特異性抗体化の可能性探索**  
Exploring the Potential for Bispecific Antibody Engineering Based on Functional Evaluation of anti-Transferrin Receptor Antibodies  
医薬基盤・健康・栄養研究所 上町(丁) 昊
- B-015 リン酸化セリン特異的ウサギ抗体における高親和性・選択性をもたらす構造的基盤の解明**  
Structural insights into high affinity and selectivity of phosphorylated serine-specific rabbit antibodies  
九州大学大学院薬学研究院、東京大学大学院工学系研究科 笠原 慶亮
- B-016 CD 分光法による VHH 抗体の高次構造・安定性・同等性評価**  
Higher-Order Structure, Stability, and Similarity Assessment of VHH Antibodies Using CD Spectroscopy  
日本分光株式会社 山根 愛
- B-017 IgG 抗体の第二フォールド状態の実体**  
Alternatively folded state of IgG antibodies  
長浜バイオ大学バイオサイエンス学部 今村 比呂志
- B-018 サメ由来 IgNAR 抗体の分泌発現における C 末端領域の重要性の解明**  
C-Terminal Region is important for Secretory Expression in Shark-Derived IgNAR Antibodies  
徳島大学大学院 創成科学研究科 井上 愛子
- B-019 抗体－薬物複合体における薬物抗体比による抗原結合力の変化**  
Changes in antigen binding affinity depending on the drug-to-antibody ratio in antibody-drug conjugates  
アステラス製薬株式会社 物性研究所 小川 紗也香
- B-020 ADC のリンカー加水分解が分析法にもたらす影響**  
Impact of Linker Hydrolysis on Test Results for ADC  
アステラス製薬株式会社 CMC ディベロップメント物性研究所 高杉 智博
- B-021 Online-LC および MALS を活用した凝集体のリアルタイムモニタリング技術の開発**  
Development of real-time monitoring technology for aggregates using On-line LC and MALS  
アステラス製薬株式会社 佐藤 恵
- B-022 MAM のための自動前処理プロセスの最適化検討**  
Optimization Study of Automated Sample Preparation For Multi-attribute Method  
日本ウォーターズ 深澤 啓介
- B-023 機械学習を用いた細胞アッセイの課題解決**  
Solving cell-based assay challenges using machine learning  
アステラス製薬株式会社 CMC ディベロップメント 物性研究所 藤原 歩夢

- B-024 LC-MS 統計解析ソフトによる培地と力価の自動測定がもたらすバイオプロセス開発の強化**  
Enhancing Bioprocess Development through Automated Spent Media and Titer Analysis by LC-MS with Data Connectivity via Statistical Software  
日本ウォーターズ 廣瀬 賢治
- B-025 Sweep Imaging Microscopy によるサブミクロン粒子の分析**  
Development of Sweep Imaging Microscopy for submicron particle analysis  
大阪大学大学院工学研究科 鳥巢 哲生
- B-026 イオン交換クロマトグラフィーによる抗体および ADC のチャージバリエーションの最適分離条件探索の効率化**  
Efficient method development for separation of charge variants of antibody and ADC by ion-exchange chromatography  
株式会社島津製作所 中園 純菜
- B-027 ラマン分光法を用いた不溶性異物・微粒子の特性解析手法の開発と粒子管理戦略への応用**  
Development of characterization methods for Sub Visible Particles/Visible Particles Foreign using Raman spectroscopy and application to control strategy for particles  
中外製薬株式会社 製薬技術本部 分析研究部/バイオ G 杉村 俊紀
- B-028 抗体分析における Bioassay への Robot の活用**  
Utilizing the robot for bioassay  
アステラス製薬株式会社 物性研究所 野口 友理絵
- B-029 LC-MS および icIEF による抗体医薬先行品およびバイオシミラーの特性解析**  
Novel LCMS-Compatible icIEF Fractionation for Characterization of Innovator and Biosimilar mAbs  
日本ウォーターズ 矢田 絵都子
- B-030 Low Endotoxin Recovery を引き起こす抗体医薬品中の エンドトキシン凝集構造及び回収率に分散剤（パイロスペース<sup>TM</sup>）が与える影響**  
The effect of dispersing agents (Pyrospense<sup>TM</sup>) on endotoxin aggregate structures and recovery rates in antibody drugs that cause low endotoxin recovery  
アステラス製薬株式会社 Product Research & Development 物性研究所 黒澤 祐哉
- B-031 抗体やたんぱく質の高速な特性解析に向けた微小液量反応と ExD 解離の有効性**  
Combining Microdroplet Reactions with ExDFragmentation for Fast Characterization of Proteins and Antibody Subunits  
アジレント・テクノロジー株式会社 軸丸 裕介
- B-032 抗体 - 薬物結合比（DAR）の HPLC 分析における分子物性・構造の影響**  
The effect of molecular properties and structure on the drug to antibody ratio (DAR) in HPLC analysis  
アステラス製薬株式会社 物性研究所 三村 真大

- B-033**      **抗体糖鎖の微小不均一性を精密に解析する技術の開発**  
A refined method for precise analysis of antibody glycan microheterogeneity  
新潟大学理学部      長束 俊治
- B-034**      **多様性医薬品モダリティの高速・高効率精製のための多孔性分離基材の開発**  
Development of porous separation media for rapid and effective purification of diversative medical modalities  
京都府立大学大学生命環境科学研究科      久保 拓也
- B-035**      **新型分子間相互作用解析装置を用いた高速・高感度な抗体親和性評価**  
High-throughput and sensitive antibody affinity evaluation using new molecular interaction analysis system.  
ザルトリウス・ジャパン株式会社      丸山 雄介
- B-036**      **抗原依存的な酵素スイッチ Switchbody における酵素機能の多様化**  
Expanding the Functional Repertoire of Antigen-Responsive Enzyme Switch "Switchbody"  
東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究所      安田 貴信
- B-037**      **機械学習手法とエネルギー計算手法を用いた in silico 設計による anti-FGFR4 mini-binder の取得**  
Design and Optimization of Anti-FGFR4 mini-binders by Integrating Machine Learning and Energy Calculations  
株式会社医学生物学研究所      太田 航平
- B-038**      **RFdiffuion を用いた in silico 設計による anti-HER2 mini binder の取得**  
In silico design of anti-HER2 mini-binders using RFdiffusion  
星薬科大学 薬品物理化学・東京大学先端科学技術研究センター      宗像 里佳
- B-039**      **mAb 製造における動物細胞培養の生存率の違いが及ぼす細胞除去と澄清化工  
程への影響評価**  
An Investigated Case Study of Impact of Cell Culture Viability on Clarification Performance of Mammalian Cell Culture  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社      畑山 勝浩
- B-040**      **アゴニスト抗 RP105 モノクローナル抗体は、主な B 細胞刺激の中で IgD 抗体  
を誘導できる唯一の刺激である**  
Agonistic anti-RP105 mAb is uniquely capable of inducing IgD production among major B cell stimulants  
愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座      山崎 達也
- B-041**      **二重特異性抗体のハイスループットな作製・設計・生産・評価**  
High-Throughput Generation, Design, Production, and Evaluation of Bispecific Antibodies  
Genedata KK, Tokyo, Japan      Meripet Yamanaka
- B-042**      **細胞ディスプレイによる HER2 標的抗体群の結合親和性一括測定**  
Simultaneous binding affinity measurement for HER2-targeting antibodies using cell display  
東京科学大学 生命理工学院      安倍 巧

- B-043 疎水性クロマトグラフィーとマルチモーダルクロマトグラフィーの連結による新規ポリッシング工程の開発**  
Development of novel polishing process by combining hydrophobic interaction and multimodal chromatography  
アステラス製薬株式会社 PR&D CBTL Downstream Bioprocess Laboratory 三輪 和慶
- B-044 人工選択操作からの直接細胞傷害評価によるがん標的リード抗体スクリーニング**  
Direct cytotoxicity-guided discovery of T-cell engaging antibodies from in vitro selection  
東北大学工学研究科バイオ工学専攻 前嶋 康太
- B-045 新型コロナウイルス変異株に対する新規小型抗体の合理的設計**  
Rational design of mini-protein binders targeting SARS-CoV-2 variants  
東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系 季高 駿士
- B-046 多機能性抗体薬物複合体の作製を目的とする光によるクリック反応制御技術の開発**  
Development of a Light-Controlled Click Reaction Technology for the Fabrication of Multifunctional Antibody-Drug Conjugates  
信州大学大学院総合医理工学研究科 福田 悟
- B-047 ADC Builder: 抗体薬物複合体のための効率的な分子モデリング技術の開発**  
ADC Builder: Development of an Efficient Molecular Modeling Technique for Antibody-Drug Conjugates  
株式会社モルシス 池上 貴史
- B-048 MoleQlyze<sup>®</sup> – 溶液分子投影装置が解き明かす溶液中の VHH fragment およびその抗原複合体の形状と動態**  
MoleQlyze<sup>®</sup>: A 3D Molecular Projection Approach to Elucidate VHH fragment and their antigen complex Structures and Dynamics in Solution  
株式会社リガク 松本 崇
- B-049 フィルター型クロマトグラフィーを用いた清澄化における宿主細胞由来不純物の低減にトレハロース添加が及ぼす影響**  
Impact of trehalose addition on the removal of host Cell-derived impurities during clarification using filter chromatography  
ナガセヴィータ株式会社 橋本 孝太郎
- B-050 足場タンパク質を利用した高反応性単鎖抗体固定化ラテックス粒子の開発**  
Preparation and characterization of latex beads immobilized with rabbit scFv through the protein scaffold  
京工織大院機能物質化学専攻 笹岡 颯太
- B-051 新規 DNA display 法と等温核酸増幅法 (LAMP 法) を組み合わせた迅速・高感度抗原検出法の開発**  
The development of rapid, high-sensitive antigen detection method combining a novel DNA display and isothermal DNA amplification (LAMP)  
埼玉大学大学院理工学研究科 山下 純平

- B-052**      **蛍光免疫センサーのスクリーニング法の確立を目指した抗体提示細胞への蛍光ペプチド修飾**  
Fluorescence peptide conjugation to antibody-displaying Cells for screening fluorescence immunosensors  
東京科学大学 生命理工学院      上野 慶行
- B-053**      **タンパク質のジスルフィドケミストリーを活用した IDPs に対する抗体取得と免疫測定への応用**  
Disulfide chemistry-based antibody development for Intrinsically disordered proteins and applications in immunoassays  
岡山大学院ヘルスシステム統合科学研究科      坂口 隆偉
- B-054**      **ラボレス診断：スマート ELISA による迅速・簡便検査の実用化研究**  
Towards Lab-less Diagnostics: Translational Research on Rapid and Easy-to-use Smart ELISA Testing  
国立研究開発法人産業技術総合研究所健康医工学研究部門      舘脇 雄介
- B-055**      **ハイブリッドスーパーチャージ化抗体：ナノ粒子への吸着制御を介したイムノアッセイ感度向上のための合理的アプローチ**  
Hybrid supercharged antibodies: A rational approach to boost immunoassay sensitivity via controlled nanoparticle adsorption  
旭化成株式会社、東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻      佐藤 潤一
- B-056**      **Development and Characterization of Cross-Reactive VHH Antibodies Targeting the Transferrin Receptor for Blood-Brain Barrier Penetration**  
Kagoshima University Graduate School of Science and Engineering,  
Department of Chemistry      Muhammad Feisal Jatnika
- B-057**      **抗体産生能向上を目的とした培地添加剤としての素材の探索**  
Screening of Medium Additives for Enhancement of Antibody Production  
ナガセヴィータ株式会社      新里 海咲
- B-058**      **大腸菌発現が困難な積み木細工型抗体のデザインと調製を可能にするペプチドライゲーション技術**  
Peptide ligation strategy for generating a reconstructed antibody Nano-block in E. coli  
東北大学大学院 バイオ工学専攻      中澤 光
- B-059**      **染色体工学技術の抗体研究への応用 (4) 多様化誘導抗体ディスプレイシステムによる Wnt/ $\beta$  カテニンシグナル制御分子の探索**  
Application of Chromosome Engineering Technology to Antibody Research (4) Search for Wnt/ $\beta$ -Catenin Signaling Regulatory Molecules Using a Diversification-Induced Antibody Display System  
東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科      本多 菜々子
- B-060**      **Express Hu-mAb システム (1) mRNA-LNP 免疫による完全ヒト抗体産生マウスを用いた迅速なヒト中和抗体作製技術の開発**  
Express Hu-mAb System (1) Rapid generation of human neutralizing antibodies via mRNA-LNP immunization of fully human antibody producing mouse model  
鳥大・染色体工学セ      濱道 修生

- B-061 Express Hu-mAb システム (2): Mammalian display 法による抗 SARS-CoV- 2 ヒトモノクローナル抗体取得**  
Express Hu-mAb System (2) : Acquisition of anti-SARS-CoV-2 human monoclonal antibodies by Mammalian display method  
東京薬科大学生命科学部応用生命科学科 福島 隆斗
- B-062 Express Hu-mAb システム (3) Mammalian display 法による抗 SARS-Cov-2 合成ヒトポリクローナル抗体取得**  
Isolation of Synthetic Human Polyclonal Antibodies Against SARS-CoV-2 via Mammalian Display  
東京薬科大学生命科学部応用生命科学科 渡辺 新大
- B-063 Express Hu-mAb システム<sup>4</sup> 発現カセットの単一コピー挿入によりヒト抗体高発現が可能な Mammalian display 用 CHO 細胞株の構築**  
Construction of a CHO cell line for mammalian display enabling high-level expression of human antibodies through single-copy insertion of the Express Hu-mAb system (4) expression cassette  
東京薬科大学生命科学部応用生命科学科 木村 香絵
- B-064 Express Hu-mAb システム (5) Mammalian display と 1 アミノ酸置換型オリゴ DNA プールを用いたヒト抗体の親和性成熟**  
東京薬科大学生命科学部応用生命科学科 鎌形 風和
- B-065 染色体工学技術の抗体研究への応用 (2) 腸上皮細胞特異的に Wnt シグナルを活性化する高活性型 R-spondin/ 抗 GPA33 抗体複合体の腸オルガノイドに対する作用の検討**  
Application of chromosome engineering technology to antibody research(2) :Evaluation of the effects of a hyperactive R-spondin/Aniti-GPA33 antibody complex that activates Wnt signaling specifically in intestinal epithelial cells on intestinal organoids  
東京薬科大学 生命科学部 生物工学研究室 本多 英嗣
- B-066 イソペプチド結合導入抗体 iSoMAb の開発**  
Development of the Isopeptide Bond-Introduced Antibody iSoMAb  
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学系生命系専攻 中西 猛
- B-067 D-アスパラギン酸認識ウサギモノクローナル抗体の探索**  
Exploration of Rabbit Monoclonal Antibodies Recognizing D-Aspartic Acid  
名古屋大学大学院生命農学研究科 大橋 侑里子
- B-068 ADLib® システムを用いた抗膜タンパク質抗体取得と親和性成熟**  
ADLib® system-based approach for the selection and affinity maturation of anti-membrane protein antibodies  
株式会社カイオム・バイオサイエンス 徳山 理恵
- B-069 ヘテロ細胞捕捉した大径キャリア内での分泌抗体捕捉とフローサイトメーターによるハイスループット抗体スクリーニング**  
High-throughput flow cytometric screening of secreted antibodies using large carriers for heterogeneous cell loading  
ソニー株式会社 技術開発研究所 ライフサイエンステクノロジー研究開発部 林 義人

- B-070 細胞間相互作用に基づくハイスループット抗体スクリーニング：イメージング解析の有用性検証**  
High-throughput Antibody Screening Based on Cell-Cell Interactions Using Flow Cytometry: Validation of the Utility of Imaging Analysis  
ソニー株式会社 技術開発研究所 ライフサイエンステクノロジー研究開発部 村田 彩
- B-071 がん型 Trop-2 特異的認識抗体の取得**  
Acquisition of antibodies recognizing cleavage-type Trop-2 highly expressed in cancer cells.  
株式会社医学生物学研究所 赤塚 淳一
- B-072 動物細胞ディスプレイ法を用いた機能性抗体の開発**  
Development of Functional Antibodies Using Mammalian Cell Display  
千葉大学大学院理学研究院 赤澤 光瑠
- B-073 疲弊防止能を有する T 細胞刺激剤を目指した新規抗 CD28 ウサギモノクローナル抗体の開発**  
Development of a Novel Rabbit anti-CD28 antibody for a T cell Activation reagent to prevent T cell Exhaustion  
富士フイルム和光純薬株式会社 山口 真由
- B-074 抗コルチゾール scFv の効率的親和性成熟：H 鎖枠組み配列 1 への 1 アミノ酸挿入効果の網羅的解析**  
Efficient affinity maturation of anti-cortisol scFv: Comprehensive analysis of the effect of a single amino acid insertion into V<sub>H</sub>-FR1  
京都薬科大学 木口 裕貴
- B-075 蛋白質連結による IgG 六量体の構築**  
Construction of IgG hexamers antibodies by protein linkage  
山形大院工・化学バイオ 猪子 佳那
- B-076 環状トポロジー二重特異性抗体 Cyclobody の構築**  
Construction of small bispecific T-engagers with a circular topology  
山形大院工・化学バイオ 高橋 ひより
- B-077 ワンポット糖鎖リモデリング法によって合成した位置選択的 ADC の生物学的評価**  
Biological evaluation of the site-specific ADC synthesized by one-pot glycan remodeling  
公益財団法人野口研究所 高田 美生
- B-078 ハイスループットな抗体医薬品創製に向けた抗体プラットフォーム創製の試み**  
Construction of rat scFv library as platform for generation of antibody-based medicine with high-throughput screening.  
国際医福大薬、国際医福大院薬 加藤 芳徳

- B-079 環状一本鎖抗体を用いた二重特異性 T 細胞誘導抗体のマウスモデルによる抗腫瘍活性評価**  
Evaluation of antitumor activities of bispecific T-cell engaging antibodies composed of cyclic single-chain Fvs by use of PDX mouse models  
熊本大院薬 森岡 弘志
- B-080 抗 PDPN 抗体の抗体-薬物複合体による抗腫瘍効果**  
Anti-tumor effect by antibody-drug conjugate targeting PDPN  
ゼノジェンファーマ株式会社、研究開発部 岡本 啓治
- B-081 抗体医薬品製造における細胞分離工程のプロセス最適化検討**  
Process optimization of cell culture harvest in antibody drug substance production  
協和キリン株式会社 生産本部 バイオ生産技術研究所 精製プロセス開発グループ 小林 政彦
- B-082 中和能に優れた高機能抗 HB-EGF 抗体群のエピトープ解析**  
Epitope analysis of highly functional anti-HB-EGF mAb groups with neutralization activity  
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 伊勢 知子
- B-083 染色体工学技術の抗体研究への応用(1) 腸組織指向性を有する完全ヒト抗体の創出と基盤的解析**  
Application of chromosome engineering technology to antibody research (1) Generation and characterization of a bowel-targeting fully human antibody  
鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻 染色体医工学講座、  
鳥取大学 染色体工学研究センター、鳥取大学 医学部 生命科学科 飛知和 弦輝
- B-084 脳行性抗体を用いた抗体核酸複合体 (AOC) の作製と移行性評価**  
Development and brain delivery evaluation of Antibody-Oligonucleotide Conjugates (AOCs) utilizing brain-penetrant antibodies  
鹿児島大学 理工学研究科 理学専攻 化学プログラム 堂園 直樹
- B-085 エムポックスウイルス感染を防御するヒト化 VHH 多価抗体の開発**  
Development of humanized multivalent VHH antibodies to prevent mpox virus infection  
国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 治療薬開発研究部 赤澤 大輔
- B-086 抗体及び ADC 製剤の光安定性改善に向けた製剤開発**  
Formulation development to improve the photostability of antibody and ADC drugs  
アステラス製薬株式会社 プロダクトリサーチ & ディベロップメント 製剤研究所 中田 叡
- B-087 糖鎖連結抗体薬物複合体構築に向けた糖鎖合成および抗体導入**  
Glycan Synthesis and Antibody Incorporation for Glycan-Conjugated Antibody-Drug Conjugates  
星薬科薬 鎗田 ひかる
- B-088 HIV 侵入の阻害効果を向上させる抗体薬物複合体**  
Antibody-drug conjugates with enhanced inhibitory effects against the HIV entry  
東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所 三浦 裕太郎

- B-089**      **がん発現因子 Trop-2 に対する VHH の取得**  
Isolation of VHH binding to Trop-2, a cancer expression factor  
株式会社医学生物学研究所      鈴木 和宏
- B-090**      **ADC の Fc $\gamma$  受容体 /C1q 結合活性の SPR 評価系構築**  
Establishment of an SPR Evaluation Method for Fc $\gamma$  Receptors and C1q Binding of ADCs  
アステラス製薬株式会社 物性研究所      ウンシンイン
- B-091**      **ワンポット糖鎖リモデリング法を用いた高薬物抗体比 ADC の合成**  
Synthesis of High DAR ADCs Using a One-Pot Glycan Remodeling method  
公益財団法人野口研究所      三保 谷綾
- B-092**      **マルチカラムクロマトグラフィーの特性を考慮したウイルスクリアランス試験の設計と実施**  
Design and Implementation of Viral Clearance Study Considering the Characteristics of Multi-column Chromatography  
協和キリン株式会社 生産本部 バイオ生産技術研究所 精製プロセス開発グループ      古川 新
- B-093**      **ADC 濃度測定における濁度補正による濃度低下に関する検討**  
Evaluation of ADC concentration reduction induced by scatter correction  
アステラス製薬株式会社 物性研究所      橋本 匡浩
- B-094**      **バイオプロセスにおける DX 化ソリューションを用いた効率的なプロセス開発**  
Efficient Process Development Using DX Solutions in Bioprocessing  
横河電機株式会社      末綱 彩花
- B-095**      **FcRn カラム直結質量分析計による酸化抗体の解析**  
株式会社東ソー分析センター      小松 恭子
- B-096**      **次世代破傷風治療薬を目指したアルパカ由来 VHH 抗体の開発**  
Development of alpaca VHH antibodies for next-generation tetanus therapeutic drug  
アーク・リソース(株)      宮崎 誠生
- B-097**      **二重特異性抗体医薬品に対するアフィニティークロマトグラフィーを活用した不純物除去の開発**  
Impurity Removal Using Affinity Chromatography for Bispecific Antibody Therapeutics  
中外製薬株式会社      木下 真由美
- B-098**      **Protein A アフィニティークラムによる高感度抗体力価測定 および Protein A-SEC 2D LC による力価および凝集体量の同時測定**  
High Sensitivity Titer & Simplified 2D Protein A-SEC Analysis for Faster Quantitation of mAb Titers and Aggregates  
日本ウォーターズ      岩崎 裕子

- B-099**      **Quencher and photosensitizer-conjugated antibody for cancer treatment with reduced adverse effect**  
東京科学大学総合研究院化学生命科学研究所      朱 博
- B-100**      **抗体－核酸複合体（AOC）の血中滞留性の向上を目指したドラッグデリバリーシステムの開発**  
Development of a drug delivery system to improve the blood retention of antibody-nucleic acid conjugates (AOCs)  
東大院工      末廣 芙弥
- B-101**      **組換え IgG 抗体の生産プロセス開発における AI 実験計画法を用いた最適培養条件探索**  
Optimization of culture conditions using AI driven approach in the development of recombinant IgG antibody production processes  
株式会社日立プラントサービス      岡本 棟悦
- B-102**      **円偏光二色性スペクトルにおけるスペクトル距離を使った先行バイオ医薬品とバイオシミラーの高次構造の比較**  
Higher-order structure comparison of the reference and biosimilar products using spectral distance calculation on the circular dichroism spectra  
国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部      柴田 寛子

# バナー広告一覧 (順不同)

下記の団体・企業様には日頃より日本抗体学会に深いご理解とご支援をいただき、ここに厚く御礼申し上げます。

日本抗体学会会長 **伊東 祐二**  
第4回日本抗体学会学術大会実行委員長 **根本 直人**

東ソー株式会社

Biointron

中外製薬株式会社

ナカライテスク株式会社

株式会社ワイエムシィ

株式会社細胞工学研究所

株式会社ペルセウスプロテオミクス

ザルトリウス

株式会社ユー・メディコ

ナガセヴィータ株式会社

株式会社ペプチド研究所

株式会社 Epsilon Molecular Engineering

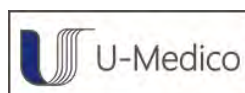
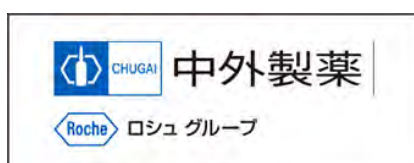
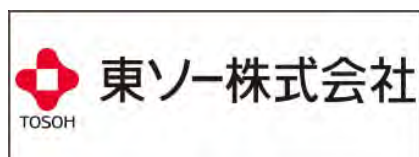
iBody 株式会社

株式会社オーダーメイドメディカルリサーチ

Rigaku

株式会社糖鎖工学研究所

株式会社特殊免疫研究所



## 賛助会員一覧 (受付順)

賛助会員の御社には日頃より日本抗体学会に深いご理解とご支援をいただき、ここに厚く御礼申し上げます。

日本抗体学会会長 **伊東 祐二**  
第4回日本抗体学会学術大会実行委員長 **根本 直人**

|                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| RePHAGEN 株式会社                      | 東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部  |
| 株式会社 Epsilon Molecular Engineering | アステラス製薬株式会社          |
| ナカライテスク株式会社                        | 株式会社ペプチド研究所          |
| iBody 株式会社                         | コスモ・バイオ株式会社          |
| 株式会社ワイエムシイ                         | ナガセヴィータ株式会社          |
| 大正製薬株式会社                           | 株式会社オーダーメイドメディカルリサーチ |
| 株式会社細胞工学研究所                        | 株式会社リガク              |
| 株式会社レボルカ                           | 株式会社 エービー・サイエックス     |
| 協和キリン株式会社                          | 株式会社アブクルクス バイオファクトリー |
| ザルトリウス・ジャパン株式会社                    | 武田薬品工業株式会社           |
| サンヨーファイン株式会社                       | 株式会社ペルセウスプロテオミクス     |
| 味の素株式会社                            | 株式会社レビティジャパン         |
| 日本ウォーターズ株式会社                       | シミックバイオ株式会社          |
| 中外製薬株式会社                           | 株式会社糖鎖工学研究所          |
| デンカ株式会社                            | 大鵬薬品工業株式会社           |
| オリエンタル酵母工業株式会社 バイオ事業本部             | 第一三共株式会社             |
| 株式会社特殊免疫研究所                        | 株式会社ユー・メディコ          |
| 株式会社島津製作所                          | ジーンデータ株式会社           |

## 協賛企業一覧 (受付順)

第4回日本抗体学会学術大会を開催するにあたり、下記の団体・企業様より多大なご支援を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

日本抗体学会会長 **伊東 祐二**  
第4回日本抗体学会学術大会実行委員長 **根本 直人**

### 企業展示

アーク・リソース株式会社  
株式会社島津製作所 島津総合サービス  
東ソー株式会社  
Pfanstiehl, Inc.  
アンチェインドラブズ株式会社  
プロテインシンプルジャパン株式会社  
株式会社エービー・サイエックス  
株式会社エムエステクノシステムズ  
シュレーディングー株式会社  
Biointron  
iBody 株式会社  
Twist bioscience  
極東製薬工業株式会社  
ザルトリウス・ジャパン株式会社  
フィルジェン株式会社  
株式会社ペプチド研究所  
サイヤジェン株式会社  
テルモ株式会社  
ナガセヴィータ株式会社  
バイオタージ・ジャパン株式会社  
コスモ・バイオ株式会社  
WuXi Biologics (Hong Kong) Limited  
株式会社樋口商会  
Genovis AB  
株式会社糖鎖工学研究所  
東京化成工業株式会社  
株式会社 SCREEN ホールディングス  
株式会社カイオム・バイオサイエンス  
コージンバイオ株式会社  
株式会社特殊免疫研究所  
株式会社アブクルクス バイオファクトリー

富士フイルム和光純薬株式会社  
メトラー・トレド株式会社  
株式会社モルシス  
プロテインメトリックス  
株式会社堀場製作所  
横河電機株式会社  
バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社  
グローバルライフサイエンステクノロジーズジャパン株式会社 (Cytiva)  
キコーテック株式会社  
ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社  
株式会社 Epsilon Molecular Engineering  
KBI Biopharma Japan  
大塚化学株式会社  
株式会社リガク  
メトラー・トレド株式会社  
ベックマン・コールター株式会社  
関東化学株式会社  
ピラマルファーマソリューションズ  
株式会社日本シノバイオロジカル  
住友ベークライト株式会社  
花王株式会社  
アピ株式会社  
株式会社ユー・メディコ  
インフォコム株式会社  
アズワン株式会社  
株式会社アクロバイオシステムズ  
RePHAGEN 株式会社  
日本分光株式会社  
テルモ株式会社  
メルク株式会社  
Gator Bio

株式会社スクラム

ネッパジーン株式会社

AlpalifeBio

株式会社エムエステクノシステムズ

富士フイルム富山化学株式会社

一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構

ジーンデータ株式会社

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学・岐阜大学 糖鎖生命コア研究所

ライフイクスアナリティカル株式会社

ティー・エイ・インストルメント・ジャパン株式会社

株式会社ペルセウスプロテオミクス

ヤマト科学株式会社

大塚製薬株式会社

### ランチョンセミナー

東ソー株式会社

ザルトリウス・ステディム・ジャパン株式会社

プロテインシンプルジャパン株式会社

株式会社 エービー・サイエックス

シュレーディングー株式会社

Biointron

ベックマン・コールター株式会社

株式会社ユー・メディコ

### ティータイムセミナー

日本ウォーターズ株式会社

iBody 株式会社

Twist bioscience

ザルトリウス・ジャパン株式会社

WuXi Biologics (Hong Kong) Limited

サーモフィッシャーサイエンティフィック(ソルベンタム合同会社)

株式会社糖鎖工学研究所

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

### 広告

東ソー株式会社

Biointron

ザルトリウス・ジャパン株式会社

株式会社ペプチド研究所

株式会社糖鎖工学研究所

東京化成工業株式会社

株式会社 SCREEN ホールディングス

メトラー・トレド株式会社

プロテインメトリックス

ピラマルファーマソリューションズ

株式会社日本シノバイオロジカル

株式会社ユー・メディコ

福岡 Estade 株式会社

AlpalifeBio

株式会社東ソー分析センター

富士フイルム富山化学株式会社

株式会社レボルカ

ティー・エイ・インストルメント・ジャパン株式会社

ヤマト科学株式会社

アピ株式会社

### 広告ビデオ

東ソー株式会社

Biointron

株式会社ペプチド研究所

テルモ株式会社

ナガセヴィータ株式会社

株式会社 SCREEN ホールディングス

株式会社カイオム・バイオサイエンス

メトラー・トレド株式会社

プロテインメトリックス

株式会社アクロバイオシステムズ

株式会社レボルカ

高性能疎水クロマトグラフィー用カラム

# TSKgel® HIC-ADC シリーズ



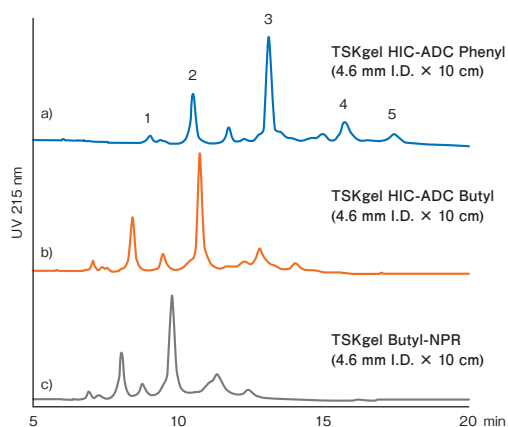
## 特徴

- 非多孔性充填剤(5  $\mu$ m)にブチル基、もしくはフェニル基を導入した疎水クロマトグラフィーカラム(HIC)
- 抗体医薬品、バイオ医薬品の高分離分析(10 cmカラム)、高速分析(3.5 cmカラム)が可能
- 抗体薬物複合体(ADC)の分離選択性が高く、薬物抗体比(DAR)分析に有効
- 安定した品質(低ロット間差、高耐久性)
- たんぱく質の回収率が高く、微量分析が可能

## 主な対象物質・用途

- ADCのDAR分析、純度分析
- 抗体医薬品、バイオ医薬品、たんぱく質の凝集体、フラグメント分析、異性体分離・分析
- プラスミドDNAのトポ異性体分離・分析

### ● HIC-ADCシリーズによるADC Mimicの分析



(測定条件)

カラム : a) TSKgel HIC-ADC Phenyl (4.6 mm I.D.  $\times$  10 cm)  
: b) TSKgel HIC-ADC Butyl (4.6 mm I.D.  $\times$  10 cm)  
: c) TSKgel Butyl-NPR (4.6 mm I.D.  $\times$  10 cm)  
溶離液A : 0.1 mol/L リン酸ナトリウム緩衝液 +  
1.0 mol/L 硫酸アンモニウム (pH 7.0)  
溶離液B : 0.1 mol/L リン酸ナトリウム緩衝液 (pH 7.0) /  
2-プロパノール = 70 / 30  
グラジエント : B 0 - 100 % (0 - 15 min, リニア)  
流速 : 0.5 mL/min  
検出 : UV 215 nm  
温度 : 25  $^{\circ}$ C  
注入量 : 20  $\mu$ L  
試料 : SigmaMAb Antibody Drug Conjugate (ADC) Mimic  
1. DAR = 0, 2. DAR = 2, 3. DAR = 4,  
4. DAR = 6, 5. DAR = 8

HIC-ADCシリーズは疎水基の種類の違いにより試料の分離選択性が異なります。ADCの分析においても既存のTSKgel Butyl-NPRと比較してピーク間隔が広く、分離選択性に優れます。

## 製品

| 品番      | 品名                            | カラムサイズ                      | 粒子径       | 価格       |
|---------|-------------------------------|-----------------------------|-----------|----------|
| 0023536 | TSKgel HIC-ADC Phenyl         | 4.6 mm I.D. $\times$ 3.5 cm | 5 $\mu$ m | 110,000円 |
| 0023537 | TSKgel HIC-ADC Phenyl         | 4.6 mm I.D. $\times$ 10 cm  | 5 $\mu$ m | 220,000円 |
| 0023542 | TSKgel guardcolumn HIC-ADC Ph | 4.6 mm I.D. $\times$ 0.5 cm | —         | 50,000円  |
| 0023538 | TSKgel HIC-ADC Butyl          | 4.6 mm I.D. $\times$ 3.5 cm | 5 $\mu$ m | 110,000円 |
| 0023539 | TSKgel HIC-ADC Butyl          | 4.6 mm I.D. $\times$ 10 cm  | 5 $\mu$ m | 220,000円 |
| 0023543 | TSKgel guardcolumn HIC-ADC C4 | 4.6 mm I.D. $\times$ 0.5 cm | —         | 50,000円  |

※ "TSKgel" は、日本における東ソー株式会社の登録商標です。



東ソー株式会社  
バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)6636-3733 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1  
大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9  
名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7  
福岡支店 ☎(092)710-6694 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-10  
仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1  
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1  
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

# BIOINTRON

# 2WEEKS

**For Recombinant Antibody Production Services**

*From gene sequence to purified antibody, it only takes 2 weeks!*



**12+**

Years of experience

**2,500+**

Companies served globally

**100,000+**

Antibodies delivered annually

## About Biointron:

Founded in 2012 and certified to ISO 9001:2015, Biointron is a CRO specializing in antibody discovery, expression, and optimization services for biotech and pharmaceutical companies. We have delivered tens of thousands of recombinant antibodies for more than 2,500 biotech and pharma companies worldwide.

## Biointron Services & Products:



### RushMab™

Small-scale antibody production in 4 days



### Bispecific Antibody Production

Any format can be expressed



### Fully Human Antibody Discovery

From target to fully human antibody in 3 months



2 Weeks

Antibody Production



Large Scale

Antibody Production



Protein

Expression



Single B Cell  
Screening



Antibody  
Humanization



Affinity  
Maturation



ADC HTP  
Antibody Conjugation



Afucosylated  
Antibody Expression

**2 Free mAb  
Samples for New Clients!**



Connect with us on  
**LinkedIn**

 [www.biointron.com](http://www.biointron.com)

 +1 (732) 790 - 8340

 [info@biointron.com](mailto:info@biointron.com)

 Shanghai, China | NJ & MA, US

# SARTORIUS

## 新製品

# Octet® R8e BLI生体分子間相互作用解析システム

ザルトリウスは業界をリードする流路不要のOctet® BLIシリーズに、新製品 Octet® R8e BLI 生体分子間相互作用解析システムを追加しました。リアルタイムの高性能な生体分子間相互作用分析のために、高感度に強化された BLI 分析をご提供します。この新製品は、高感度で柔軟なアッセイ設計、および測定時間の延長が実現するように設計されています。

より高精度の探索研究へ：

次世代の高感度による確かな結果

- 感度の向上：  
低分子量および低存在量のアナライトのダイナミックレンジを拡大し、検出限界を向上させます。
- 柔軟な処理能力：  
384ウェルマイクロプレートとの互換性により、40  $\mu$ Lという少量のサンプルでも高度な並列処理が可能で、分析コストを削減します。
- 進化した蒸発の制御：  
96ウェルプレートのサンプルで、最大16時間の測定が可能です。



詳しくはこちらから：  
<https://sar.to/OctetR8e-details>



ザルトリウス・ジャパン株式会社

# 高品質ペプチドで、確かな研究成果を。

**PEPTIDE**

高い技術と幅広い知識のプロフェッショナルたちが、  
ペプチドと糖を合成・販売しています。

世界に先駆けて  
ペプチド事業を展開  
(since 1963)

高い技術と幅広い知識  
のプロ集団が合成

ペプチド医薬品の  
GMP合成にも対応

GFP(238残基)の  
化学合成にも成功

## カタログ商品の販売

約1000種類のペプチド・糖 関連商品を高純度、低価格で販売。

## カスタム合成サービス

多様化するニーズに応えるため、幅広いカスタム合成。  
ご要望のペプチド・糖に対応。各種修飾対応。

## GMP対応ペプチドの合成

原薬および原薬中間体を製造。mg～kg まで。

現在、2品目の原薬 および 2品目の医薬品中間体を製造。

## 抗体関連サービス

### ペプチド研究所

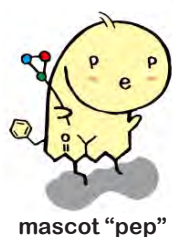
- ・ キャリアタンパク質とのコンジュゲート
- ・ 抗原ペプチドの合成
- ・ ポリクローナル抗体の作製
- ・ 抗体の精製
- ・ 抗体の修飾

**PEPTIDE**

### Biointron社 (日本代理店)

- ・ 抗体発現
  - IgG, VHH, 二重特異性抗体 など
- ・ 抗体エンジニアリング
  - アフィニティマチュレーション
  - ヒト化
  - VHH開発 など

**BIOINTRON**



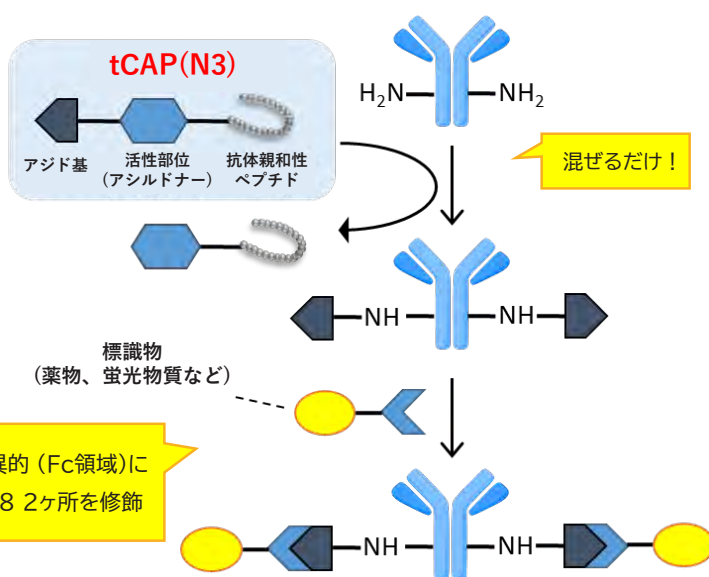
mascot "pep"

**PEPTIDE**

株式会社 ペプチド研究所 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目2番9号

🏠 <https://www.peptide.co.jp/> ✉ [sales@peptide.co.jp](mailto:sales@peptide.co.jp) ☎ 072-643-4480 📠 072-643-4422

## *tCAP(N3)* 部位特異的(Fc領域)抗体修飾ペプチド —ADC作製に—



- ✓ 中性緩衝液 (pH7-9) に溶かした抗体に tCAP(N3) を添加するだけ。
- ✓ アジド基以外にテトラジンや蛍光物質、複数のアジド基などを導入した tCAP試薬もご提供可能。

| コード    | 品名       | 容量     | 価格      |
|--------|----------|--------|---------|
| 3429-s | tCAP(N3) | 0.1 mg | ¥30,000 |



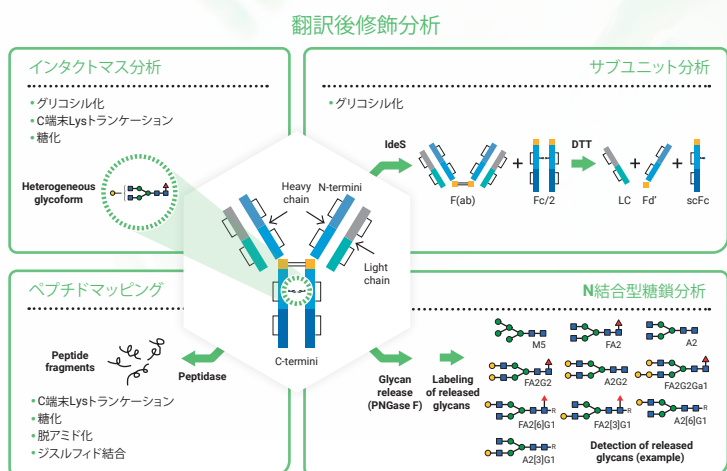
Glycan solutions  
for therapeutic antibodies

GlyTech, Inc.  
Glycoscience for Better Health

## 抗体医薬品のための分析ソリューション

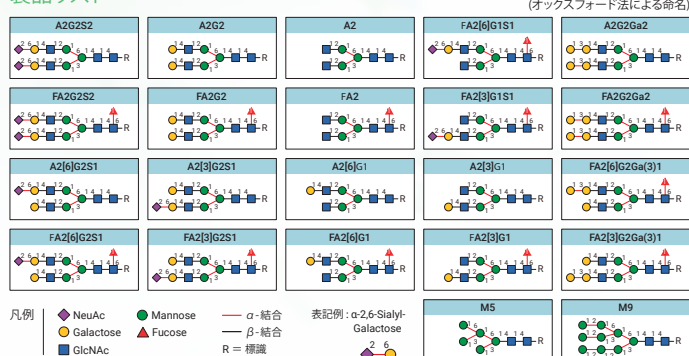
- 1 段階分析による抗体の構造解析と糖鎖プロファイル
- 2 抗体分析に最適な分析用標準糖鎖の販売

多段階の分析（インタクトマス分析、サブユニット分析、ペプチドマッピング、N結合型糖鎖分析）によって、抗体の大まかな構造から微細構造までの解析データや糖鎖構造プロファイルの取得が可能です。特に糖鎖構造解析においては、当社独自の分析用標準糖鎖によって高い精度を実現しています。



糖鎖工学研究所では、抗体分析において頻出する主要な糖鎖にフォーカスした分析用標準糖鎖をセット販売しています。標識は“PA”や“2-AB”に加えてLC/MS、CEに利用可能な標識もご利用いただけます。また、リスト非掲載の糖鎖も取り扱いがございます。お気軽にご相談ください。

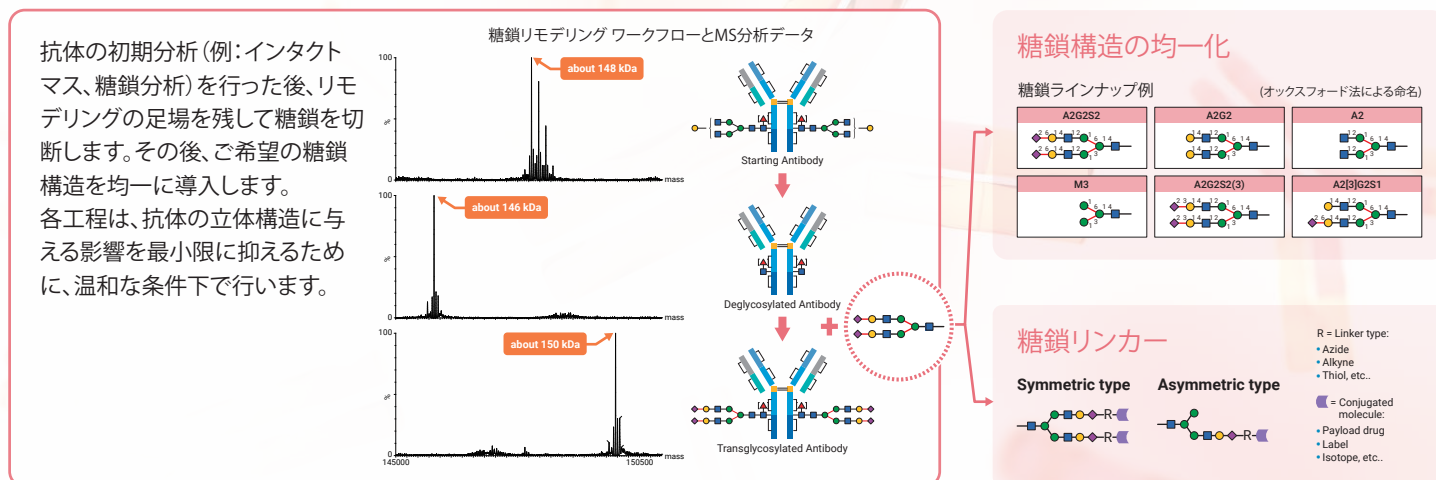
### 製品リスト



## 抗体医薬品開発のための糖鎖ソリューション

- 1 抗体の糖鎖リモデリングサービス
- 2 ADC開発等に利用可能な糖鎖リンカー
- 3 開発ステージに応じたスムーズな糖鎖供給体制

糖鎖工学研究所の糖鎖合成技術および糖鎖付加技術は、高機能化抗体および抗体薬物複合体（ADC）の開発に新たな可能性を見いだします。当社独自の技術は、抗体の糖鎖構造の均一化を可能にします。また、ペイロードや他の分子を既存の抗体に結合させるための糖鎖ベースのリンカーを合成し、新たなADCを作り出すことも可能です。



# バイオコンジュゲーション受託サービス

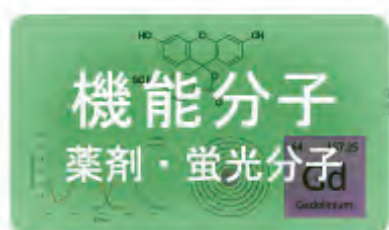
## 低分子化合物の作成・リンカーの選定から バイオコンジュゲートまで一貫対応

### 【低分子化合物の作成】

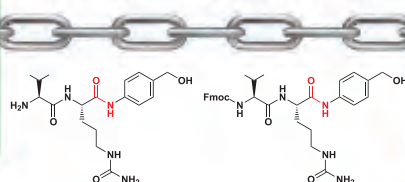
低分子化合物の合成を承ります。  
多種多様な置換基による製品作成はもちろん、  
コンジュゲートに向けたデザイン相談に対応

### 【バイオコンジュゲート】

リンカーの修飾を含む、タンパク質・抗体への  
コンジュゲーションを承ります。



リンカー：多彩な選択



### 【リンカー選定】

各種クロスリンカーを試薬製品で多数所有、  
様々なバリエーションのリンカー合成に対応可能  
リンカーの品質管理・バルク提供のご相談承ります。

リンカーの合成のみなど、個別の対応も承ります。  
低分子化合物の合成やリンカーの扱いはTCIにおまかせください。  
展示会ブースでもお気軽にご相談ください。

TCIの試薬に無い製品や、海外製品を手軽に入手したいという方に…



未掲載品の調査も承ります。  
お気軽にお問い合わせください。



TCIケミカルトレーディング株式会社

- ✓ 医薬品中間体、生理活性小分子、  
各種リンカーなど  
多彩な化学品を収載
- ✓ 製品調達から  
「バイオコンジュゲーション  
受託サービス」への連携も可能



細胞イメージング、定量解析をすべてラベルフリーで。

# Cell **B**iMager NX

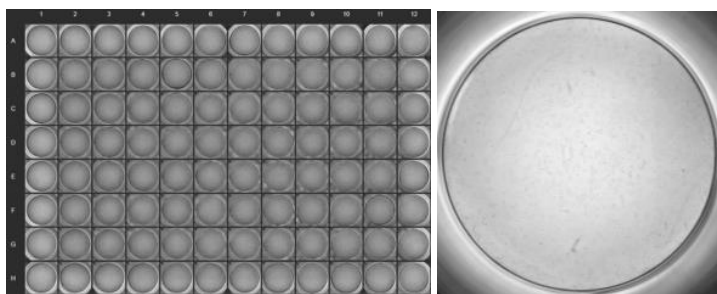


抗体医薬品の抗がん活性スクリーニング、シングルセルクローン判定の効率化をサポート

## ワークフロー

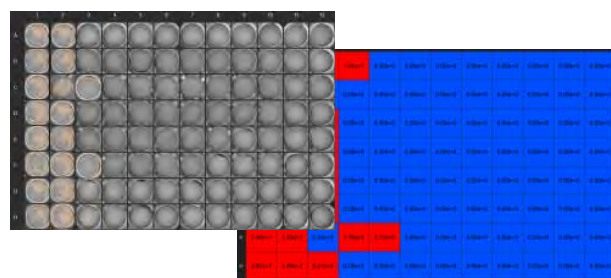
### 1. プレート設置・撮像

ウェルプレート全面を44秒\*で高速スキャン  
独自の光学・画像処理技術によるクリアな明視野撮像



### 2. Deep Learning解析・計測

AIによる細胞セグメンテーションと定量



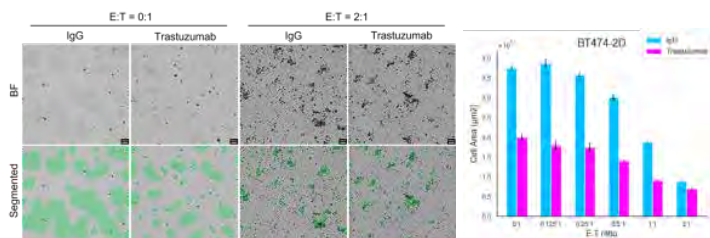
\*96wellプレート4倍対物レンズ、明視野撮像時

## アプリケーション

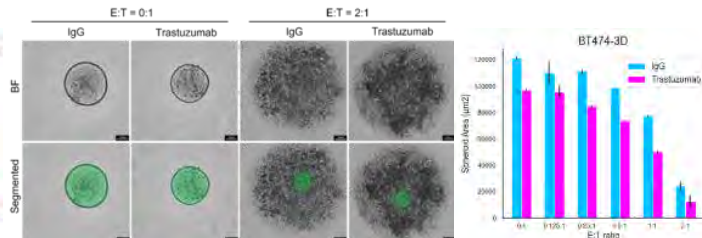
### 2D/3Dがん細胞のKilling/ADCCアッセイ(ラベルフリー)

- ▶ NK細胞とHER-2ポジティブなBT474がん細胞と平底プレートとU底プレートで培養。
- ▶ Trastuzumabを添加し、4日後に明視野撮像。
- ▶ Deep Learning解析によりがん細胞の面積値を定量し、がん細胞に対するNK細胞の傷害性を評価。
- ▶ 2D/3DともにNK細胞数依存的にがん細胞面積の減少が確認できた。

#### BT474/NK細胞 (2D)



#### BT474/NK細胞 (3D)

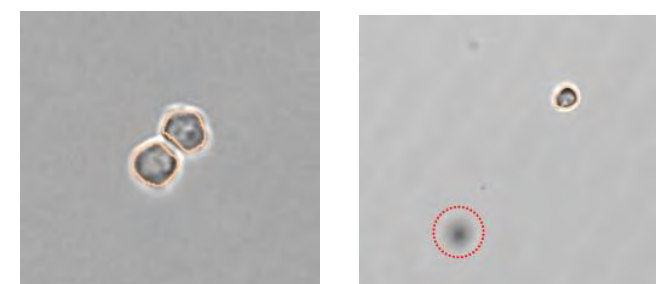


### シングルセルクローニング

- ▶ クリアな明視野像とDeep Learning解析で、様々な細胞種を播種0日目の時点で自動識別。
- ▶ コロニーと同じ位置座標を遡り、自動でクローナリティレポートを作成。

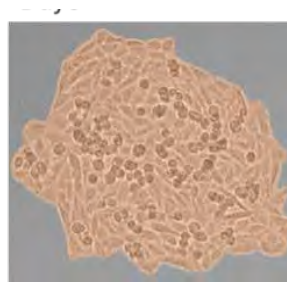
#### 播種後1hr

#### Day5

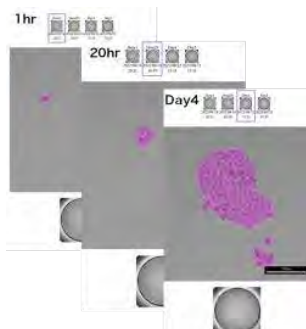


重なっている細胞も個別に計測

細胞以外のデブリは除外



コロニーの抽出と面積定量



レポートの自動作成

## 株式会社 SCREEN ホールディングス

京都(本社) / 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1

お問い合わせ先: screen\_lifescience@screen.co.jp

## ライフサイエンス事業室

京都(洛西) / 〒612-8486 京都市伏見区羽東師古川町322

Tel:075-931-7824 Fax:075-931-7826

東京 / 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目2-21 ヤマタネビル2階

Tel:03-4334-7980 Fax:03-4334-7985

<https://www.screen.co.jp/products/lifescience/cell>

データ取りや  
デモのご依頼は  
こちらまで



# メトラー・トレドが実現する、バイオプロセスの自動化とデジタル化

メトラー・トレドのオートケム製品は、バイオプロセスの効率化、自動化、デジタル化を力強く推進します。先進の自動有機合成装置、インライン分析技術、そして高度なシミュレーションソフトウェアを駆使し、研究開発の革新と生産性向上をトータルでサポートします。

## 自動有機合成装置を用いた、 バイオコンジュゲーションなどの合成プロセスの自動化



EasyMax102 EasyMax402 OptiMax1001 pH Meter Dosing

### Automated Bioprocess Workstation

全てのデータを記録し、再現性の高い実験を実行。温調、攪拌、試薬滴下を自動制御します。

### Data Integration

圧力、pH、導電率、溶存酸素などの複数のセンサーや、ポンプ、天秤など多様な周辺ユニットのデータをひとつの画面で簡単に確認できます。

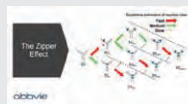


### アプリケーションノート

EasyMaxを使用した  
mRNA合成の最適化  
およびスケールアップ



▶ダウンロードはこちら: [www.mt.com/jp\\_app\\_mrna](http://www.mt.com/jp_app_mrna)



### オンデマンドウェビナー

抗体薬物複合体 (ADC)  
合成における  
結合反応の動力学研究



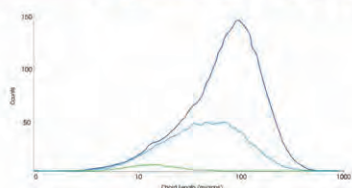
▶ご視聴はこちら: [www.mt.com/jp\\_webinar\\_adc](http://www.mt.com/jp_webinar_adc)

## インライン粒子測定装置を使用した、ハーベスト工程の最適化



ParticleTrack with FBRM™  
technology

EasyViewer with real-time  
image analysis



### アプリケーションノート

リアクター制御とインライン  
粒子特性評価による  
ハーベストの最適化



▶ダウンロードはこちら: [www.mt.com/jp\\_app\\_harvest](http://www.mt.com/jp_app_harvest)



### オンデマンドウェビナー

バイオプロセスハーベストの  
ためのインライン  
粒子分析PATの実証



▶ご視聴はこちら: [www.mt.com/jp\\_webinar\\_harvest](http://www.mt.com/jp_webinar_harvest)

### In-Situ Particle Size and Count

プロセス条件に伴う、マイクロ粒子のサイズと数の経時変化を追跡



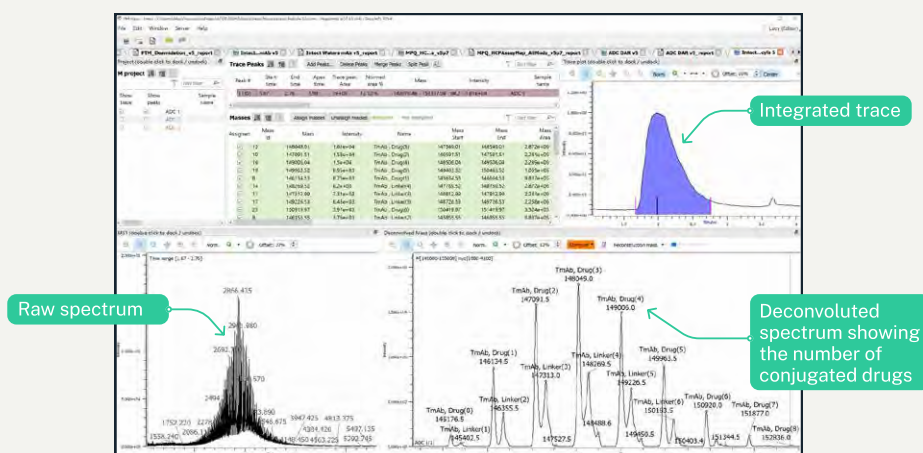
# BYOS<sup>®</sup> Desktop Software

## 確かな解析で、確かな抗体をつくる

抗体医薬品は、改変、修飾、コンジュゲーションにより複雑化しています。糖鎖、脱アミド化、S-S結合や共有結合の変化、そしてADCの結合数と位置、それらを正確に理解するには、分子全体と局所構造の両方を見通す解析が必要です。

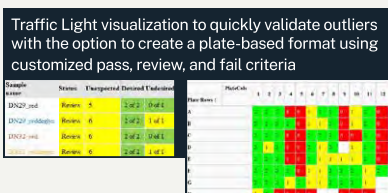
Byosは、質量分析データから得られるMS<sup>1</sup>データのデコンボリューションで分子全体像（DAR・分布・Intact解析）を可視化し、さらにMS<sup>2</sup>データ解析で修飾や結合位置を高精度に特定します。この連携により、抗体構造の「全体」と「詳細」を一つのプラットフォームで解析可能です。

ベンダーニュートラル設計により、あらゆるLC-MS/MSデータをシームレスに扱い、直感的な操作とExcel不要の自動レポート機能で、研究者は解析作業ではなく、発見そのものに集中できます。確かなデータ処理が、確かな構造理解を生み、確かな抗体をつくる力となります。



- Intact/Subunit解析, DARの自動計算
- MS<sup>2</sup>のデコンボリューションによる修飾部位、S-S結合/共有結合/糖鎖修飾の特定
- ベンダーニュートラル設計により、各社質量分析装置のデータを変換なしでインポート
- 直感的な操作とExcel不要のレポートテンプレートと、レポートのカスタマイズの柔軟性

### PTM Project view and report.

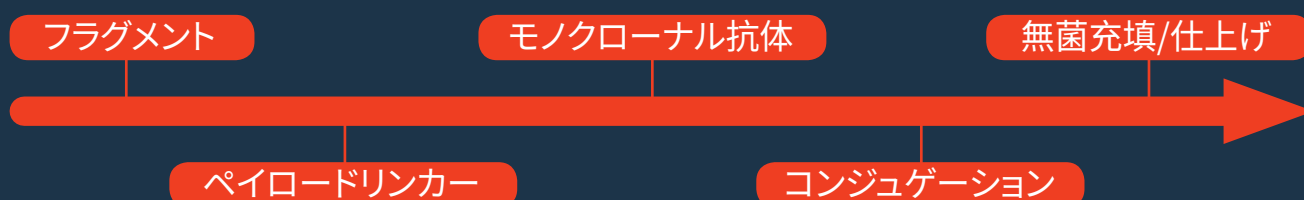


複雑化する抗体構造を、迅速に、正確に。  
MS<sup>1</sup>, MS<sup>2</sup>データから確かな答えを導く解析プラットフォーム, Byos。

## バイオコンジュゲートのための 効率化ソリューション



### 完全統合型の ADC (抗体薬物複合体) 開発および製造サービス: 定額で確実にお届け



### Piramal をパートナーに選ぶべき理由

- ADC に特化した20年以上の実績
- 1,300を超える数の ADC/バイオコンジュゲート・バッチ製造
- 数百の独自の ADC 開発
- 30以上の FDA (米国食品医薬品局) 製造承認
- HPAPI (高薬理活性原薬) への精通 (OEL (職業暴露限界値) より 10ngm<sup>3</sup> 以下)
- 60を超える数の毒素/毒素リンカーシステムに関する専門知識
- 2つの市販向け ADC 製品を現在製造中
- 近代的な臨床および商用 GMP (適性製造規範) 製造スイート
- 凍結乾燥能力

申し分のない規制対応  
実績



自社の統合グローバルネットワー  
クによる比類のないサポート



Patient Centricity (患者中心主義)  
への揺るぎないコミットメント



**PATIENT  
CENTRICITY**

Science Collective (サイエンスコ  
レクティブ) からの技術ガイダンス

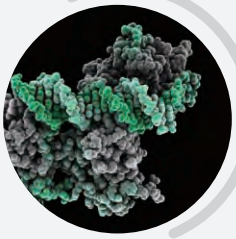


Piramal Pharma Solutions  
**Science Collective**  
The Leading Minds Behind Our Expertise.

お問い合わせ先: 山口鉄平, Ph.D  
teppey.yamaguchi@piramal.com

**piramalpharmasolutions.com**

## ● バイオ試薬および受託サービスのサプライヤー



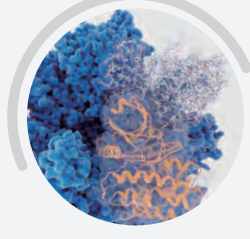
8,000+ タンパク質



14,000+ 抗体

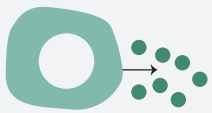


47,000+ cDNA



1500+ 活性キナーゼ

## ● おすすめ製品



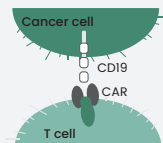
サイトカイン & 成長因子

IL2 IL17 Noggin  
IL4 GM-CSF IL18



バイオシミラー 抗体

CD25 ERBB2 EGFR  
CCR5 CD19 EGFR



薬の標的タンパク質

GPRC5D GPC3 ICAM1  
EpCAM CLEC12A ROR1



ウイルス抗原

SARS-CoV-2 RSV HIV  
HPV Ebola HBV Zika



ELISAキット 抗体ペア

P24 IL6 CALML5  
IL10 RSV-F A29

## ● 受託サービス

- High-throughput 抗体発現サービス (scFv、VHH、Bispecific 抗体)
- モノクローナル抗体開発サービス (Sigle B 細胞スクリーニング)
- 組換えタンパク質及び抗体の発現・生産サービス
- 抗体の人間化受託サービス

# バイオ医薬品と 遺伝子治療のための 分析CRO

ユー・メディコの受託サービス



## バイオ医薬品

- 粒子/凝集体解析
- 相互作用解析（例：ITC、HDX-MS）
- スマートフォーミュレーション  
合理的かつ効率的な医薬品の処方探索
- 容器栓システム適合性評価  
バイアルやシリンジ充填後の製剤の安定性試験

BSL2  
対応



## 遺伝子細胞治療

- 超遠心分析（AUC）によるAAVの完全粒子/空粒子/中間粒子比率の決定
- ウイルスベクターの構造解析
- AAV参照品・カスタム品の製造
- AAV製造プロセス開発

2025年に  
GMP基準  
試験を開始



## ナノ粒子

- AUCによるLNPの密度評価

ご希望に応じたテーラーメイドなサービスを提供します。

ぜひお気軽にお問合せください。



info@u-medico.co.jp



06-6155-7835



〒562-0036 大阪府箕面市船場西2-1-1  
エリモビル7F



www.u-medico.co.jp/

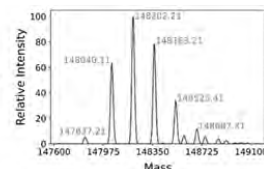
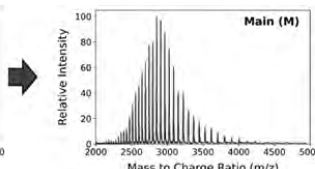
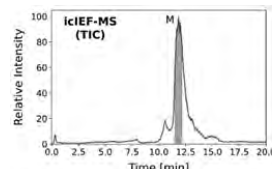
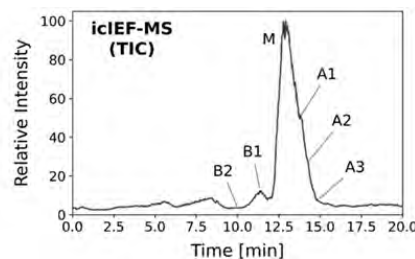
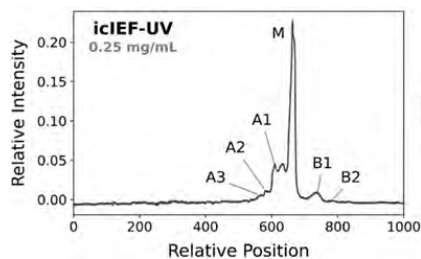
# CEInfinite - イメージングキャピラリー等電点電気泳動(icIEF)装置・試薬

①試薬の長期安定供給 ②MSと直接接続 ③各 pI 成分の自動分取ができる icIEF が登場！

**CEInfinite** 



Seamless method transfer for QC Operations



NISTmAbのicIEF-MS測定例

◎icIEF-MS：

**40分でpIと分子量を同時に得る**

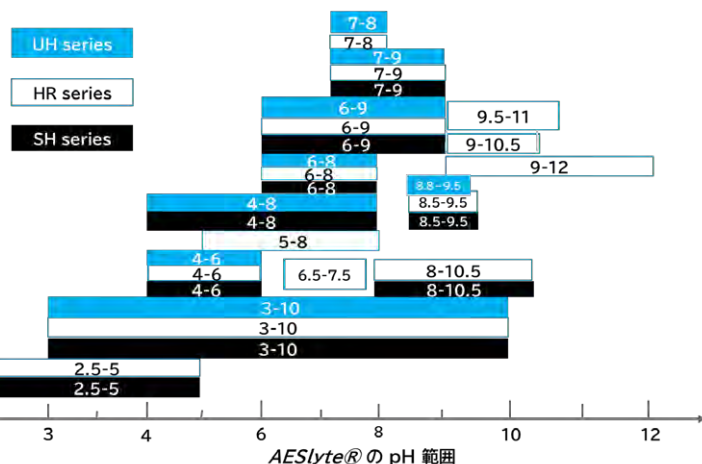
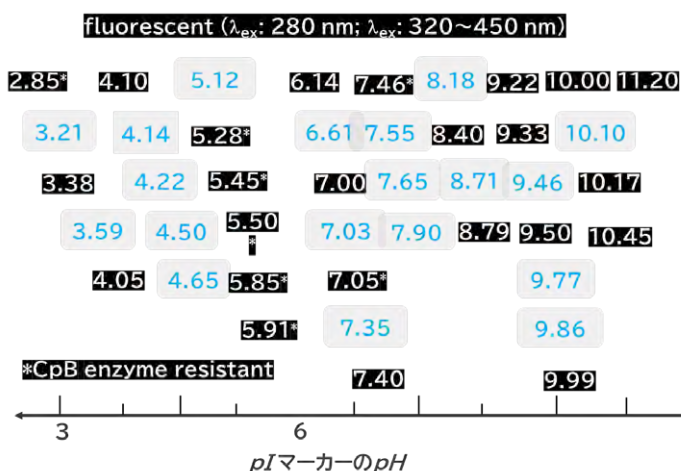
◎ icIEF自動分取：**pIが異なるバリエーションの自動分取（1回：～8μg；1日：～100μg）**

◎ pI 測定のみなら：10分以内

◎ 従来のcIEFメソッドを容易に移行

◎ **42種類以上のpIマーカー**

◎ **50種類以上のcarrier ampholyte (AESlyte®)**



◎ 他社 icIEF 試薬の製造中止による試験法の切替や薬品出荷停止等の心配がない。

◎顧客の基準・ニーズに応じる特注 QC サービスの提供

◎応用例：

ペプチド・タンパク質・抗体・抗体薬物複合体等の特性評価・ピーク同定・品質管理等

問い合わせ： 福岡 Estade 株式会社

〒814-0006 福岡市早良区百道 2-6-2-201 号

ザ・パークハウス百道

Tel/Fax: 092-985-0166; Web:

<https://www.fukuokaestade.com>

E-mail: [estadefuku@aeslifesciences.com](mailto:estadefuku@aeslifesciences.com) or [support@fukuokaestade.com](mailto:support@fukuokaestade.com)





# AlpalifeBio



## ラクダ科動物 (アルパカ) 免疫



### VHH抗体作製

Yeast Display

Phage Display

血清抗体

de novo sequencing



### VHH抗体試薬

AlpalifeBioは、ラクダ・アルパカ免疫とVHH抗体作製CRO業務に特化しています。健康で免疫背景のないラクダ類資源と、phage / yeast displayプラットフォームを活用し、お客様に高品質なVHH抗体のスクリーニング・最適化ソリューションを提供します。

Open-Access Global Platform for Antibody Drug transfer and collaboration  
オープンアクセス型のグローバル抗体医薬品取引プラットフォーム

[www.alpalifebio.com](http://www.alpalifebio.com)

154 Wells Ave, Suite 1D, Newton,   
Massachusetts 02459, USA

[xinying@alpalifebio.com](mailto:xinying@alpalifebio.com)

[lantian@alpalifebio.com](mailto:lantian@alpalifebio.com)

# 独自の分析技術で お客様の研究開発に貢献します



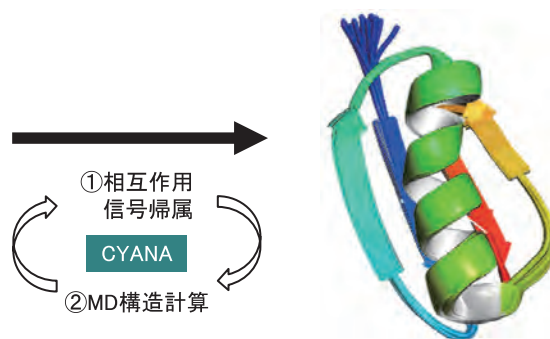
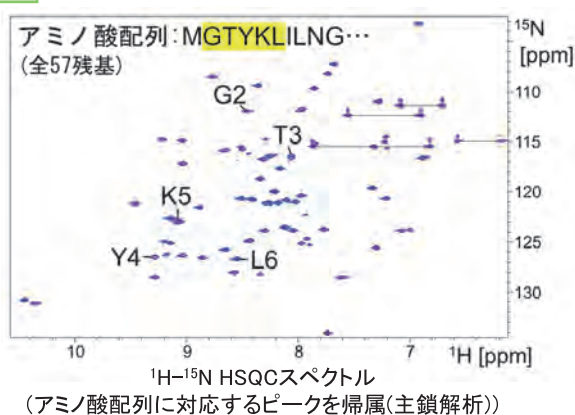
当社は受託分析企業として**国内最高レベルの高分解能・高感度を有する700MHz NMR**を保有しています。**超高感度3次元クライオプローブ**による**微量のタンパク質や抗体糖鎖**の構造解析が可能です。

| 静磁場強度  | プローブ                            | 分析対象          | 核種      | 試料量(参考値)                    |
|--------|---------------------------------|---------------|---------|-----------------------------|
| 700MHz | 超高感度3次元クライオプローブ<br>(1.7mm / 溶液) | バイオ<br>微量有機材料 | H, C, N | 0.3mg(タンパク質)<br>100μg(抗体糖鎖) |

## I 微量タンパク質の立体構造解析

- タンパク質の主鎖解析から立体構造解析までを一貫して行います。\* \* 同位体標識試料のご提供が必要です

**分析例** 微量(0.3mg)のGB1の立体構造解析

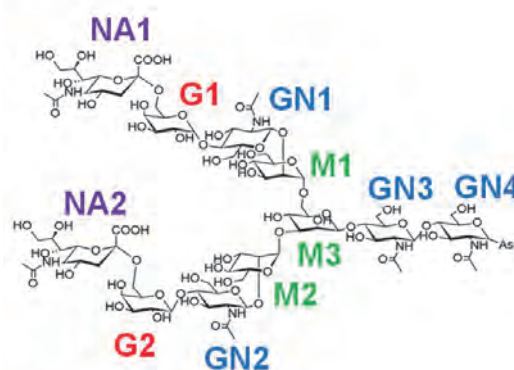
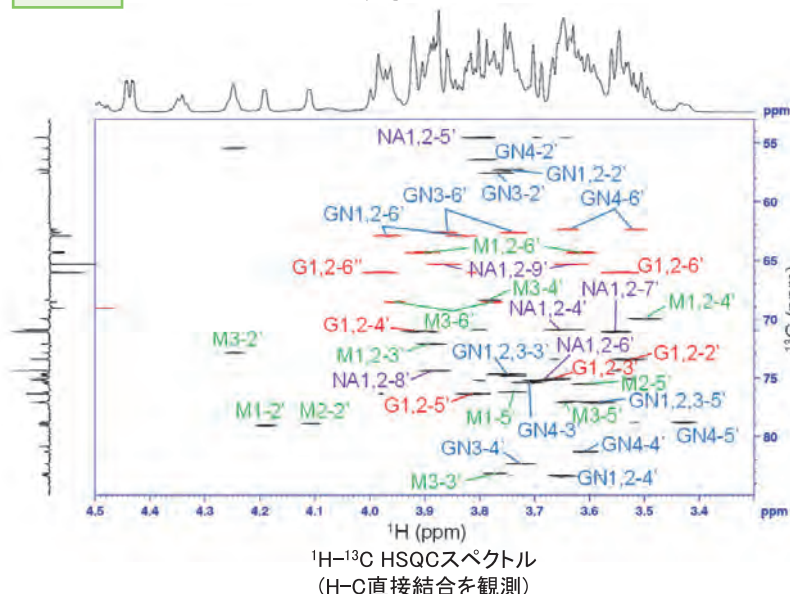


NMRから分子間距離情報等を取得し、  
立体構造を計算しました。

## II 微量糖鎖の分子構造解析

- 超高感度3次元クライオプローブを用いて微量糖鎖(100μg)の詳細な分子構造解析が可能です。

**分析例** N-結合型糖鎖(100μg)の分子構造解析

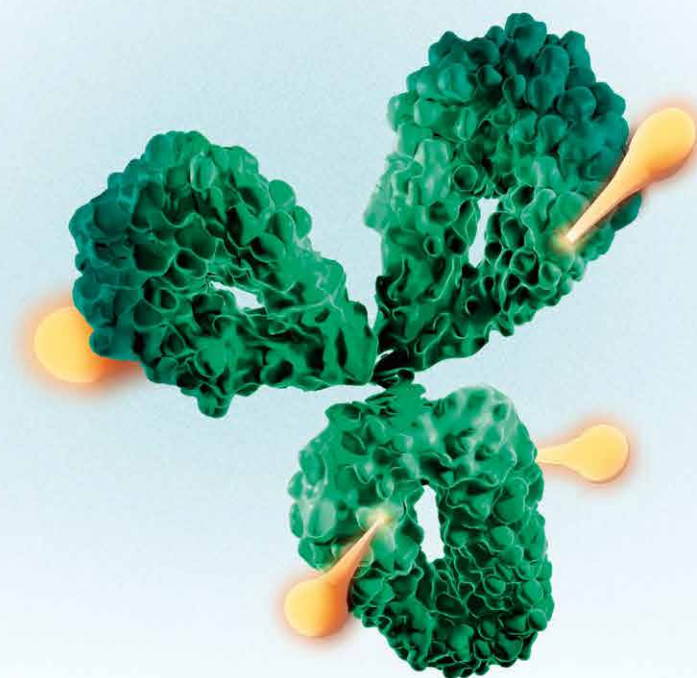


複数の2次元NMR測定結果を組み合わせ  
微量糖鎖の分子構造を解析しました。



# ADCのEnd-to-End CDMOサービス

End-to-End CDMO Services for ADCs



ADCの製造は時間が掛かる...

たくさんのCMOと契約したり調整しなければ...

凍結乾燥機のあるCMOが見つからない...

海外のCMOだと時差が辛い...

技術移転が進まない...

ワンサイト・End-to-Endサービスで問題解決のお手伝いをします！

R&Dから  
サービス開始！  
複数の案件を完遂

GMP  
製造まで  
2027年  
サービス開始予定



詳しくはこちら



# 開発に悩むすべての抗体に光を！

せっかく見つけた「いい抗体」なのに・・・  
こんなことでお困りではありませんか？

発現量が  
足りない

安定性が低い  
濃縮できない

ヒト化したら  
結合性が下がった

勘や運頼みの  
物性改善

レボルカの抗体エンジニアリング技術

## 大切なCDRは傷つけない設計思想

\*CDR : complementarity determining region

Refined Naturalness Design 駆動型フレームワークエンジニアリング

## 実測データ主導のAI予測

希少な実験データから、既存モデルでは辿り着けない真相を読み解く

新発売

デザインのみ“サツと”  
クイックに設計  
したい

勝ち筋配列最大3種提供

WEB完結

安価・迅速

RevoAb<sup>TM</sup>



株式会社レボルカ RevoAb

デザインから検証まで“着実に”  
ワンストップ解決  
したい

検証済み配列10種程度提供

パーソナライズ AI

複数の課題を一度に解決

aiProtein<sup>®</sup>



富士フイルム和光純薬株式会社



技術提供元：

株式会社レボルカ

東北大学発ベンチャー。人工知能技術を道先案内とした進化分子工学で、自然界ではたどり着けなかったフロンティアへ「進化させ」、機能分子として「育てて」いきます  
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz

東洋経済「すごいベンチャー100」  
2025年最新版 選出

## TA Instruments - Calorimeters



高濃度バイオ医薬品  
迅速スクリーニングDSC



生体分子相互作用解析  
等温滴定熱量計 ITC



タンパク質の構造安定性評価  
Nano DSC



細胞活性を熱でモニタリング  
等温熱量測定装置  
TAMシリーズ

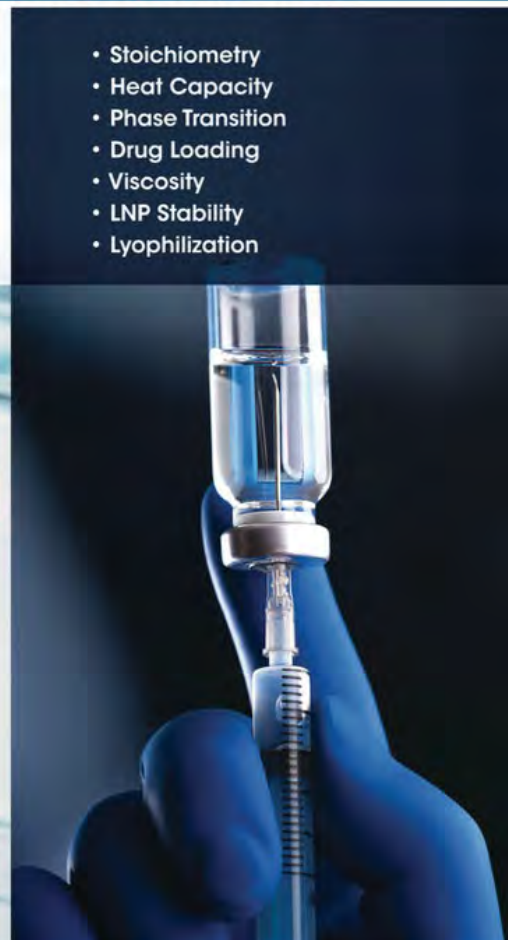
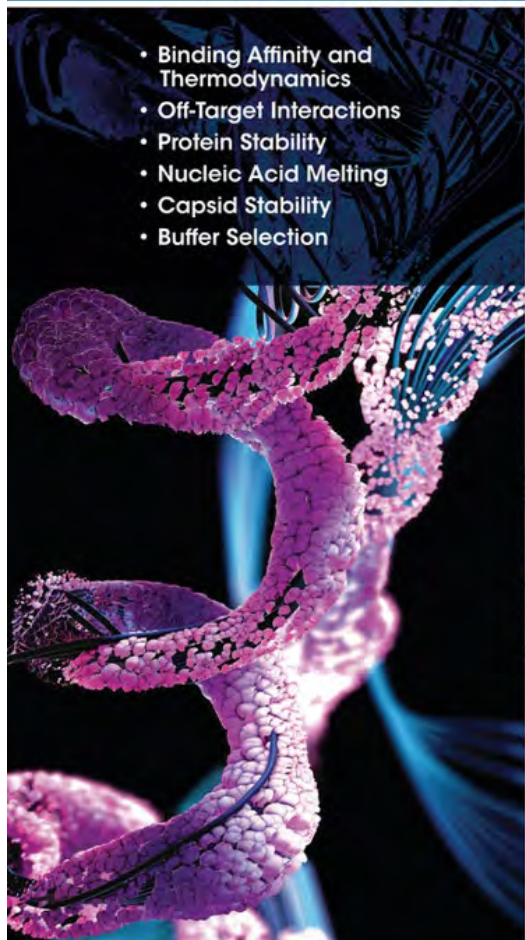
infotajapan@waters.com

### ANALYTICAL SOLUTIONS for BIOPHARMACEUTICAL CHARACTERIZATION

- Binding Affinity and Thermodynamics
- Off-Target Interactions
- Protein Stability
- Nucleic Acid Melting
- Capsid Stability
- Buffer Selection

VACCINES  
GENE THERAPIES  
RECOMBINANT PROTEINS  
RESEARCH & DISCOVERY  
FORMULATION

- Stoichiometry
- Heat Capacity
- Phase Transition
- Drug Loading
- Viscosity
- LNP Stability
- Lyophilization



SINCE 1889



光免疫療法研究用

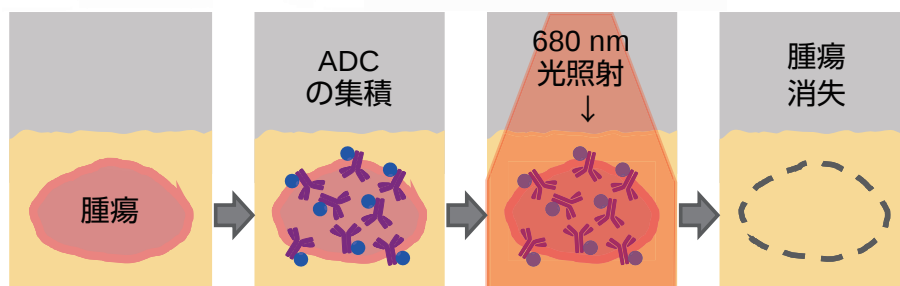
# 光活性試薬 薬物リンカー複合体

Ax-SiPc NHS Ester Infrared Dye

## 光免疫療法の研究を始めませんか!?

### 光免疫療法とは

- 光免疫療法では、腫瘍細胞を認識する抗体に光で活性化される化合物(光増感剤)を結合させた薬剤を使用します。
- 薬剤の活性化には、腫瘍細胞局所に集まった光増感剤に効率よくエネルギーを与えるために、体の深部に到達できる近赤外光(680nm)を用います。
- 光照射によりエネルギーを受け取った光増感剤は化学反応を起こし、細胞表面付近で細胞を傷害する物質(一重項酸素)を発生させます。
- 光増感剤が集まった腫瘍細胞のみを標的とするため、周囲の正常細胞や組織へのダメージを抑え、安全性を高めた新しいがん治療法として開発が進められています。



ADC: Antibody-Drug-Conjugate (抗体薬物複合体)

Y : antibody  
● : Ax-SiPc (光増感剤)

### Ax-SiPc NHS Ester Infrared Dyeの特徴

- 近赤外光を吸収して、細胞傷害性の高い一重項酸素を発生
- 「生体の窓」とされる、体内で光が最も効率よく透過する波長帯の近赤外光を使用
- 光照射により、はじめて薬剤が標的に選択的に作用
- リンカーのNHSエステル基を用いて、抗体薬物複合体を効率的に作製可能

| 商品コード       | 品名                             | 内容量 |
|-------------|--------------------------------|-----|
| AX-SIPC-1MG | Ax-SiPc NHS Ester Infrared Dye | 1mg |



科学・技術の未来のために

**ヤマト科学株式会社**

本社 〒104-6136 東京都中央区晴海1-8-11晴海トリトンスクエアY棟36階

お客様総合サービスセンター

0120-405-525

受付時間 9:00~12:00, 13:00~17:00 土日祝除く

ヤマト科学ウェブサイト

[www.yamato-net.co.jp](http://www.yamato-net.co.jp)

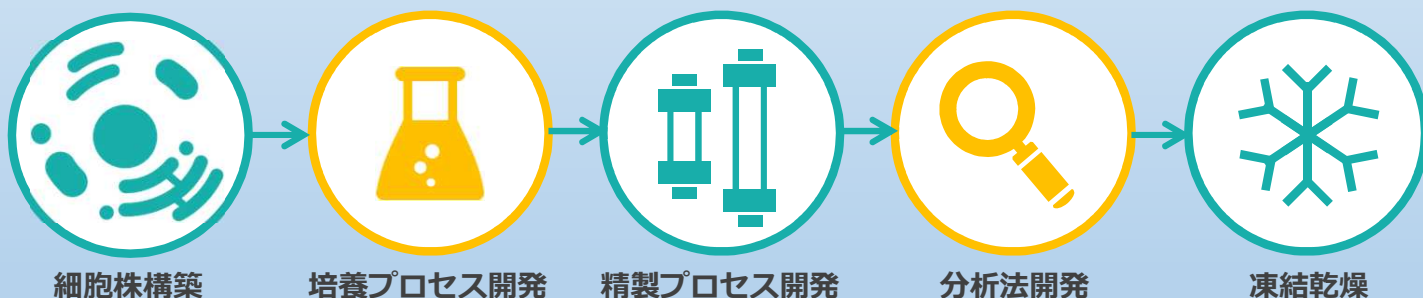
メールでのお問い合わせは、ヤマト科学ウェブサイトより受付しております



## 上流から下流までを網羅するバイオCDMO

細胞株構築から凍結乾燥まで——私たちがサポートします。

バイオ医薬品の研究開発・製造において、迅速かつ確実なパートナーをお探しですか？  
私たちは、バイオ医薬品に特化したCDMO（Contract Development and Manufacturing Organization）として、高度な技術力と柔軟な対応力で、お客様の製品開発を支援します。



### 主な受託サービス

- ◆ 細胞株構築（CHO細胞を中心とした高発現株の構築）
- ◆ 自社独自CHO細胞株を用いた一過性発現による組換えタンパク質や抗体の調製
- ◆ 培養プロセス開発（スケーラブルな培養条件の最適化）
- ◆ 精製プロセス開発（高純度製品の実現）
- ◆ 分析法開発・QC試験（ICH・GMP対応の包括的な分析サポート）
- ◆ 凍結乾燥プロセス開発（製剤設計段階からの対応が可能）

非臨床試験用から商業製造を見据えた開発まで、各フェーズでの技術的なコンサルテーションや規制要件にも柔軟に対応いたします。

ご相談・お問い合わせはお気軽に

### アピ株式会社

医薬事業本部 バイオ事業企画課  
東京支店／〒103-0023 東京都中央区日本橋橋本町3丁目7番2号  
MFPR日本橋本町ビル5階

Tel: 03-3662-3878

Email: yamaguchi-terutaka@api3838.co.jp

takeda-tsukasa@api3838.co.jp

<https://www.api3838.co.jp/medicine/index.html>

▼ Innovation starts  
with a scan.



## 第4回日本抗体学会学術大会 プログラム・抄録集

2025 年 11 月 発行

---

発 行：第4回日本抗体学会学術大会事務局  
〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255  
埼玉大学理工学研究科 工学部応用化学科

制 作：株式会社 CSS  
〒891-0117 鹿児島市西谷山 3 丁目 1-2  
TEL 099-298-1511 FAX 099-298-1512